

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
(浅瀬石川ダム、津軽ダム)

管理概要



目次

位置図	2
ダムの統合管理	3
浅瀬石川ダム	
ダムの概要	4
ダムの運用	5
今年度事業概要	6
水質保全対策	7
管理状況	8
建設事業の効果	9
ダムの効果（洪水、濁水）	10、11
沖浦ダム健康診断	12
河川環境改善に向けたフラッシュ放流	12
津軽ダム	
ダムの概要	13
ダムの運用	14
今年度事業概要	15
水質保全対策	16、17
管理状況	18
ダムの効果（洪水、濁水）	19、20
環境保全・景観への取り組み	21、22、23
水源地域活性化への取り組み	24
地域との連携	25、26、27
ダム周辺の見どころMAP	28
ダムメール	29
津軽の昔っこ	29
歴代ダムカード	30
事業費・組織・アクセスMAP	31

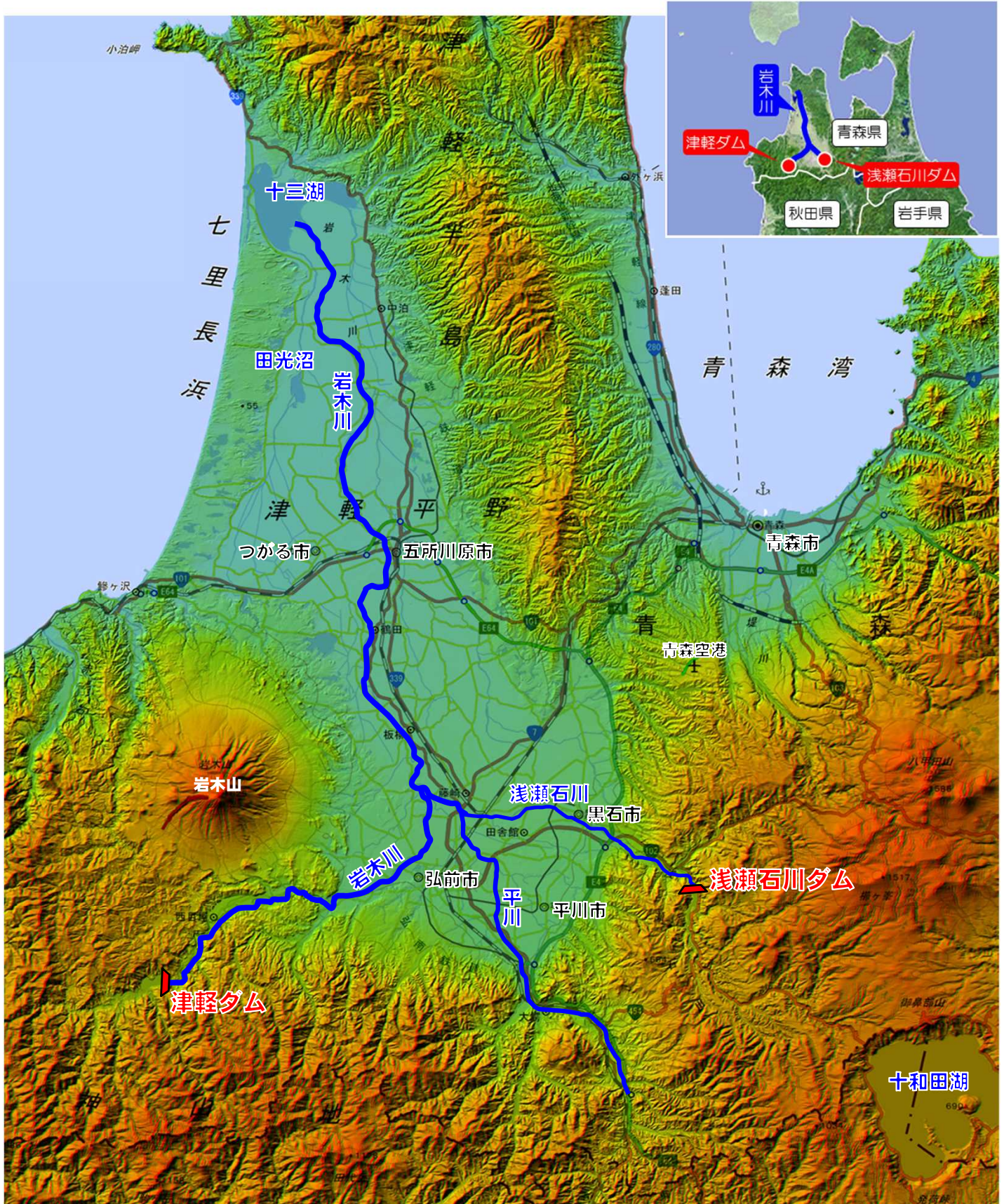
位置図

■浅瀬石川ダム

青森県の岩木川水系浅瀬石川の上流部黒石市に位置し、昭和63年竣工、平成元年より管理運用。
ダム湖名は「虹の湖」

■津軽ダム

青森県の岩木川水系岩木川の上流部西目屋村に位置し、平成28年竣工、平成29年より管理運用。
ダム湖名は「津軽白神湖」



出典：地理院地図にダムの位置等を追記して掲載

ダムの統合管理

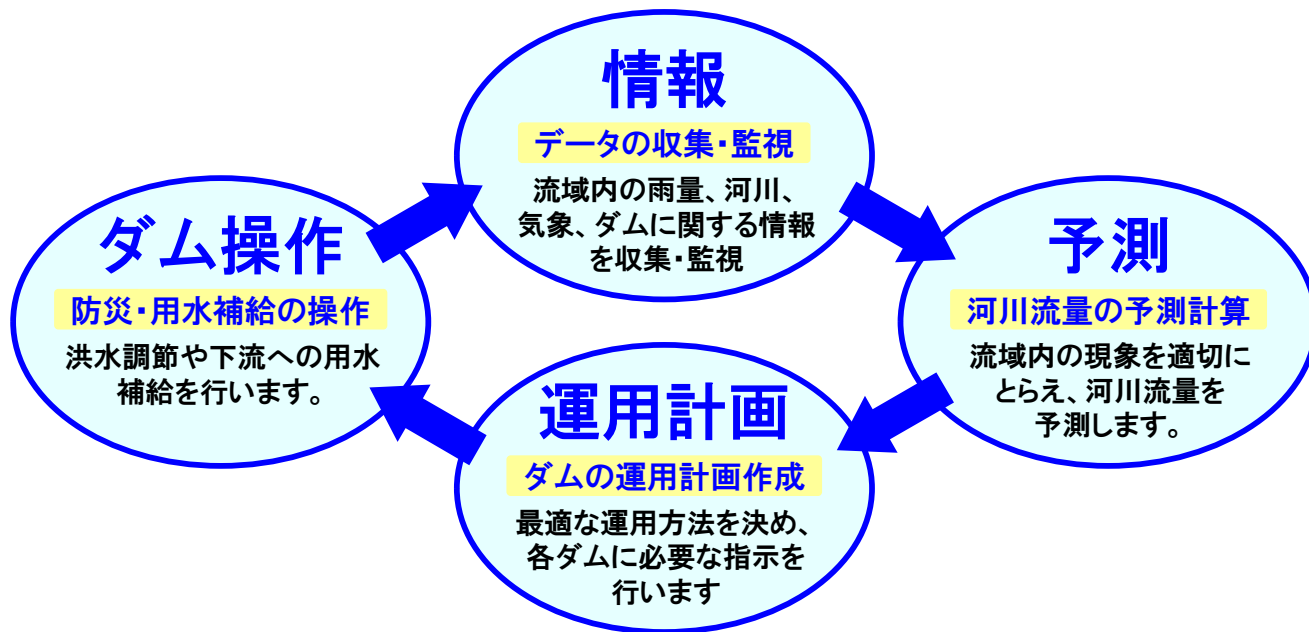
統合管理とは

統合管理とは、河川上流ダム群の各ダムの特性を活かし、治水・利水の効果を最大限に発揮させるため、ダム群を一元的に管理・運用することをいいます。

岩木川ダム統合管理事務所は、岩木川上流に位置する浅瀬石川ダム（黒石市）と津軽ダム（西目屋村）の2つのダムを管理しております。

統合管理の内容

統合管理では、次のような内容の作業を日々繰り返し行っております。

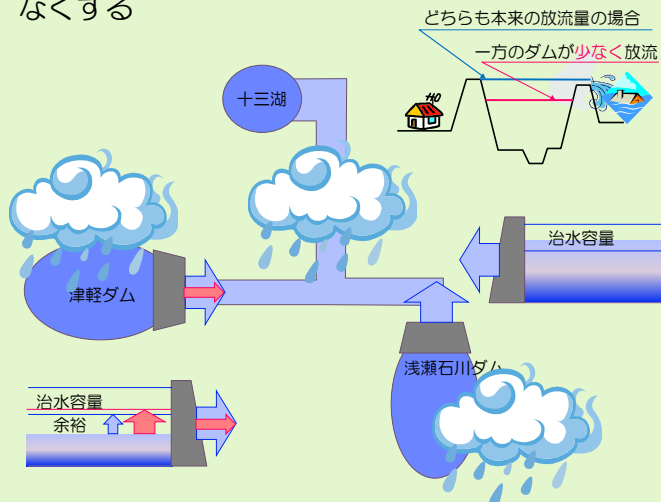


洪水・渇水発生時のダム連携操作

岩木川流域で洪水または渇水が発生した場合、津軽ダムと浅瀬石川ダムが連携して操作を行うことにより、更に下流河川の安全性の向上を図ることができます。

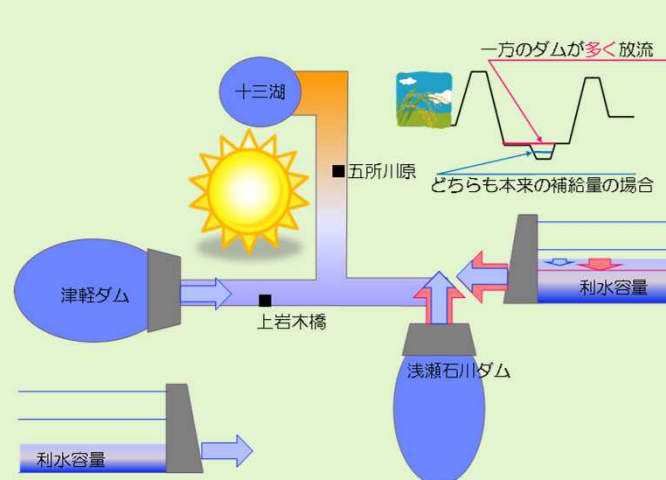
～洪水発生時～

◆空き容量を活用し、一方のダムは放流量を少なくする



～渇水発生時～

◆貯水量のあるダムが緊急的に補給



浅瀬石川ダムの概要

ダムの目的

浅瀬石川ダムは、4つの目的を持つ「多目的ダム」です。

1
洪水被害を
軽減します

ダム地点計画高水流量
2,000m³/秒 → 500m³/秒に調節
1秒間に大型バス約20台分の水量を、
約5台分に減らして流します。

2
流水の正常な機能
を維持します

既得用水(かんがい)の最大23.2m³/秒
の安定補給を行う他、河川環境の保全
として、朝日橋地点で2.2m³/秒を確
保します。

3
水道用水を
供給します

黒石市、弘前市、五所川原市、平川市、
青森市、藤崎町、板柳町、鶴田町、田
舎館村の9市町村に対し、最大
132,800m³/日を供給しています。
約44万5千人が1日に使用可能な量

4
発電を
行います

最大24.0m³/秒の取水により、最大出
力17,100kWの発電を行っています。
約24,800世帯を賄う電力量
黒石市、平川市、田舎館村の全世帯
24,283世帯※を賄う電力量
※：平成27年国勢調査結果速報(青森県企
画政策部統計分析課)資料出典

浅瀬石川ダムのあゆみ

地域・流域の皆様のご支援、ご協力をいただき、浅瀬石川ダムが完成しました。

昭和42年	4月	予備計画調査着手
昭和46年	6月	実施計画調査着手
昭和48年	4月	建設着手
昭和49年	10月	基本計画告示
昭和50年	12月	保償基準妥結・協定調印(補償対象201戸)
昭和54年	9月	浅瀬石川ダム本体工事着工
昭和61年	8月	浅瀬石川ダム本体コンクリート打設完了
昭和62年	11月	試験湛水開始
昭和63年	10月	竣工
平成元年	4月	管理運用へ移行
平成29年	4月	「岩木川ダム統合管理事務所 浅瀬石川ダム管理支所」に名称変更
平成30年	10月	管理30周年

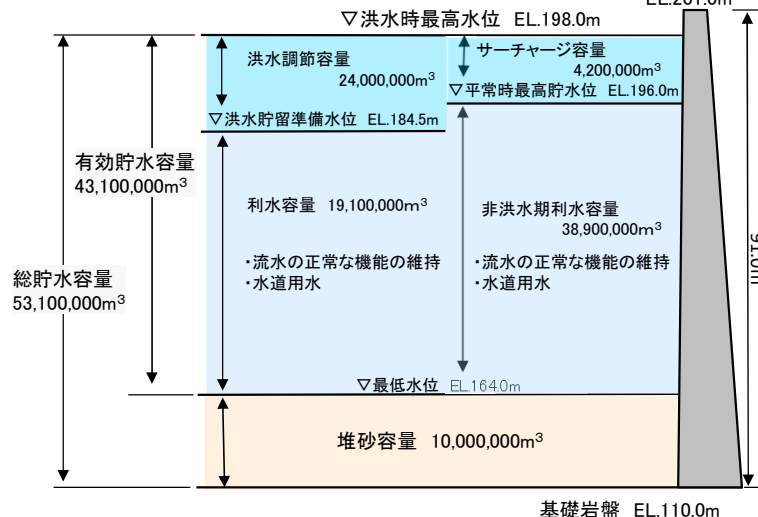
浅瀬石川ダム・貯水池の諸元

浅瀬石川ダム及び貯水池「虹の湖」の諸元は、以下のとおりです。

ダム・貯水池諸元

河川名	一級河川岩木川水系浅瀬石川	
流域面積	225.5km ²	
湛水面積	2.2km ²	
総貯水容量	53,100,000m ³	
型式	重力式コンクリートダム	
堤頂標高	EL.201.0m	
ダム高	91.0m	
堤頂長	330.0m	
堤頂幅	8.0m	
堤体積	約700,000m ³	
取水設備	共同取水設備 5段シリンダーゲート 農業用取水設備 4段シリンダーゲート 上水道取水設備 4段シリンダーゲート	
放流設備	クレストゲート：幅7.0m×高10.8m 4門 オリフィスゲート：幅4.0m×高5.3m 1門 コンジットゲート：幅2.8m×高3.6m 2門	
総事業費	約905億円	

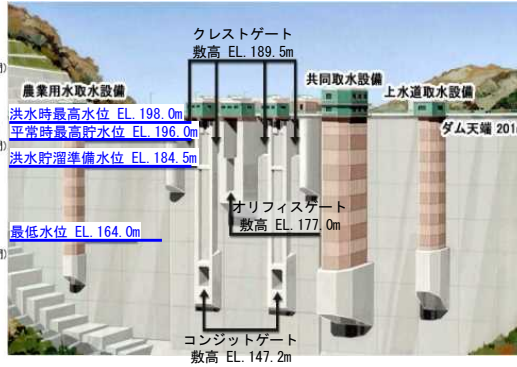
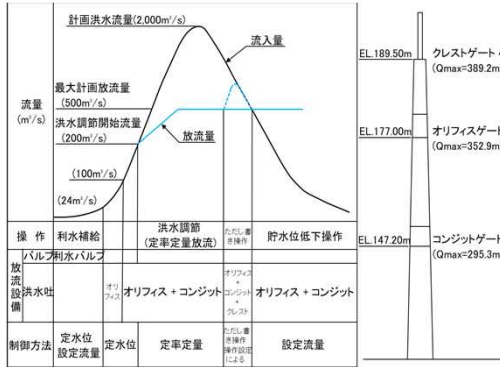
〈洪水期〉(7月1日～9月30日) 〈非洪水期〉(10月1日～翌年6月30日)



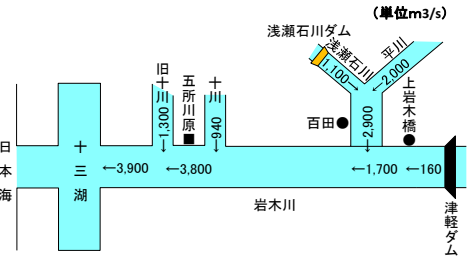
洪水調節計画

◇浅瀬石川ダムは、オリフィスゲート1門、コンジットゲート2門、クレストゲート4門、計7門のゲートにより放流操作を行います。

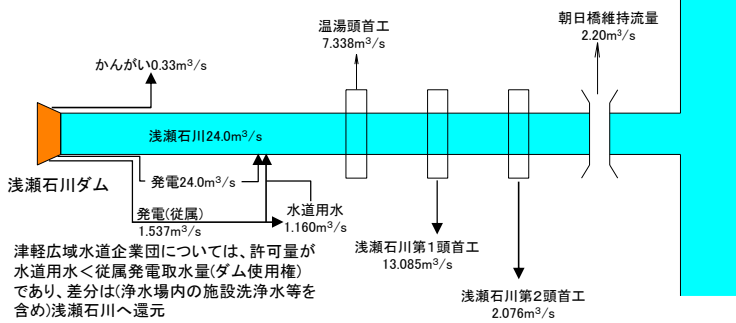
洪水調節図



岩木川計画高水流量配分図
岩木川水系河川整備基本方針(平成17年5月20日策定)

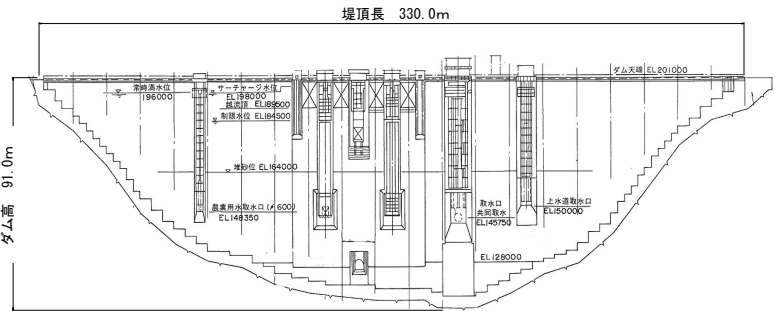


取水計画概略図



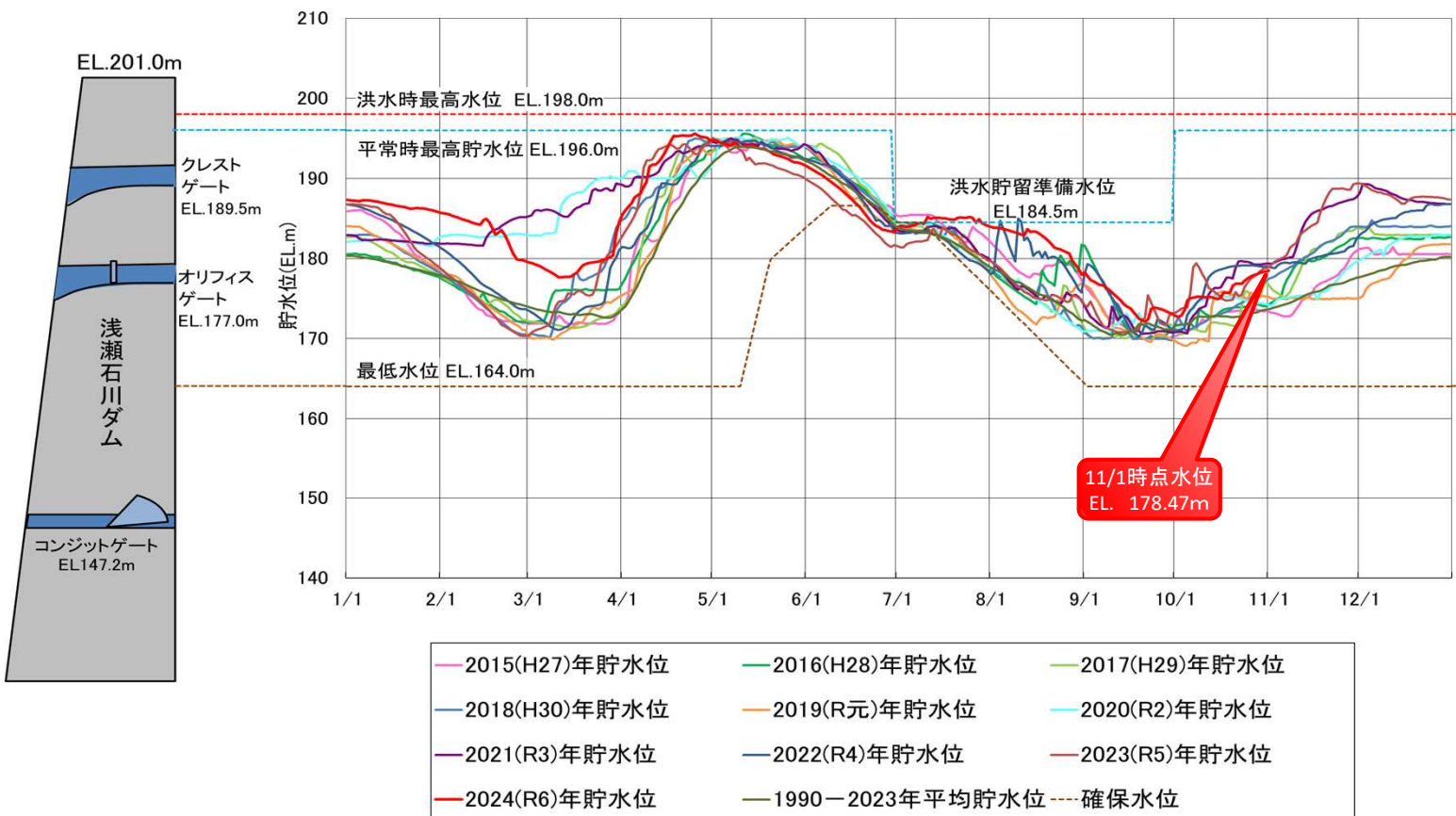
津軽広域水道企業団については、許可量が水道用水<従風発電取水量(ダム使用権)であり、差分は(浄水場内の施設洗浄水等を含め)浅瀬石川へ還元

ダム上流面図



貯水位運用状況

※毎日9時データ



今年度事業概要

【主な工事】

- ダム湖に流れ込む**流木塵芥の回収**を行いダム施設機能を維持します。
回収した流木については、地域住民の皆様へ無償提供を実施しており、同時に土砂混じりの塵芥については、黒石市沖浦埋立処分地の覆土としての有効活用を推進し、コスト縮減を図ります。



流木塵芥回収状況



流木無償提供

【主な調査】

- 河川水辺の国勢調査については、10年ごと（一部5年ごと）のサイクルで、さまざまな調査を実施していますが、令和6年度は、**底生動物、動植物プランクトン、ダム湖利用実態調査**を実施します。
- ダム管理の基本となる、流量観測や、定期採水及び水質分析を行うと共に、治水・利水上問題となるダム湖内の堆砂量の進行について、調査及び観測などを継続的に実施します。



底生動物調査



定期採水

【ダム管理】

- ダムの適正な管理のため水文データ（雨量・水位）収集や、水質調査を実施するほか、ダム堤体観測データ（漏水量・たわみ）を収集しダムに異常が無いかが監視を続けます。
また、全国に先駆け**平成28年度から実施しているドローンを活用した巡視**についても、**引き続き実施**します。
- 浅瀬石川ダムに関わる通信設備及び放流設備等の点検を行います。



ドローンを活用した巡視



ゲート設備点検状況

水質保全対策

◆浅瀬石川ダムでは、平成24年9月に異臭味（かび臭）が発生したことを踏まえ、水質保全対策として令和2年度から湖水循環装置を3基稼働しています。

かび臭発生メカニズム

表層水温20℃以上

かび臭原因藻類は、表層の水温が15℃以上で出現し、20℃以上で活発に増殖する。

水温勾配0.5℃/m以上

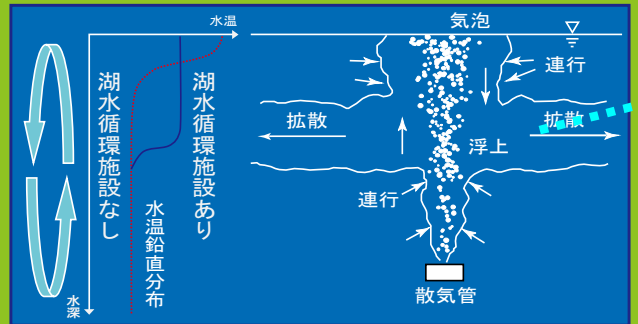
表層の水温勾配が0.5℃/m以上では、表層と下層の循環が抑制されかび臭原因藻類が表層の有光層に留まり活発に増殖する。



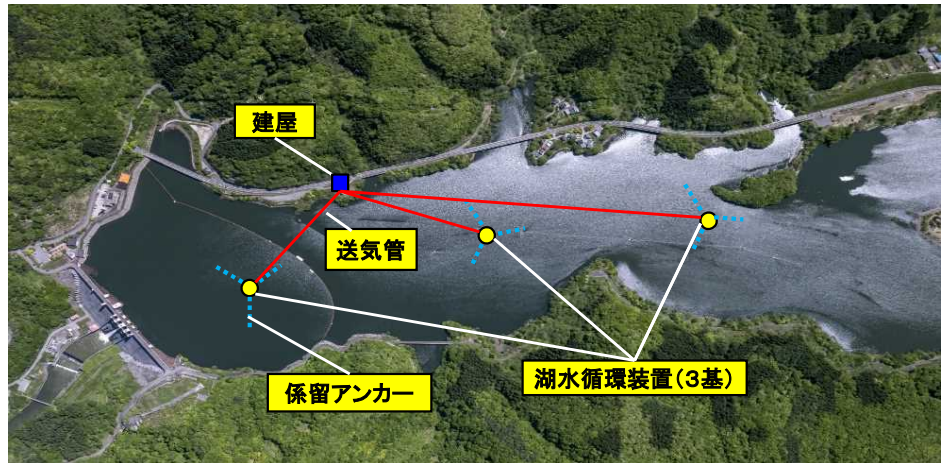
【湖水循環装置】

湖水循環（曝気）装置の効果

- ◎湖水循環（曝気）装置はかび臭対策における他ダム実績も多く水温低下効果も確認されています。
- ◎湖水循環（曝気）装置で湖水が循環混合した場合、表層水温は23℃から18℃まで低下すると試算されています。

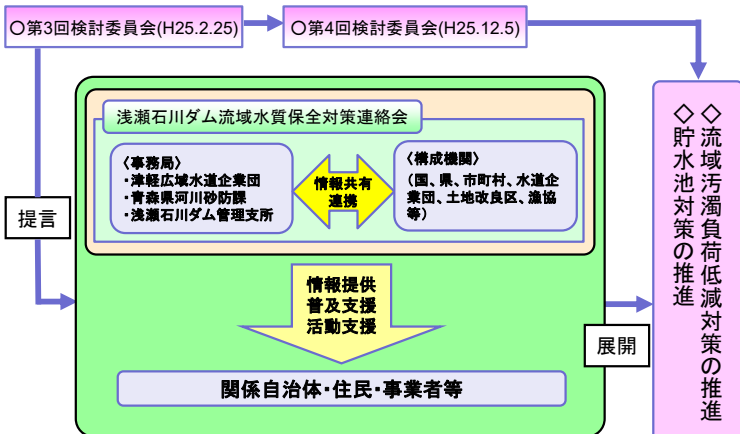


【湖水循環装置稼働後の状況】



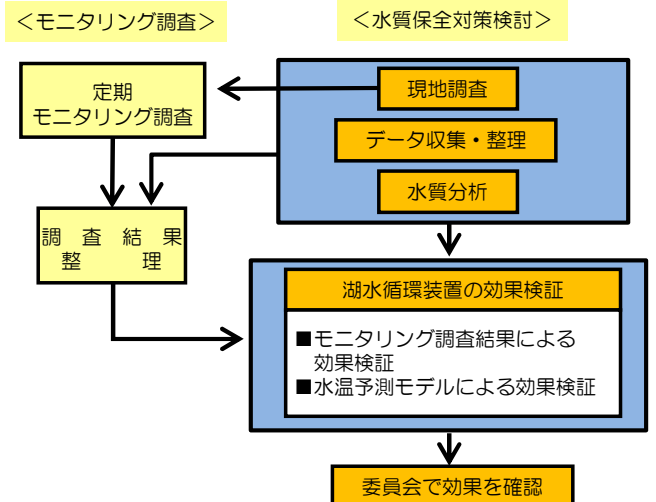
流域対策

- ・委員会の提言を受け、既存の組織を「浅瀬石川ダム流域水質保全対策連絡会」に名称変更し、拡大再編した組織に移行し流域対策を推進。
- ・H26年10月2日に設立。



恒久対策

- ・湖水循環（曝気）装置設置のモニタリング調査を実施するとともに、湖水循環装置運用（R2：6月～9月稼働）による効果検証を行い、湖水循環装置の効果について確認されました。



管理状況

洪水時の対応

洪水が予想される時には、気象情報や各観測所からの雨量・水位等のデータ情報をもとに、今後のダム流入量を予測し、洪水調節及び放流量の見通しを検討します。放流にあたっては、あらかじめ河川を利用している人や下流沿川住民にスピーカーやサイレンによって注意を喚起し、警報車によるパトロールを行う一方、関係する機関に通知します。



■ ゲート操作室

平常時の対応

ダム下流河川の流水の正常な機能の維持、水道用水の供給等のために、河川流量を日々監視し、ダムからの放流量を調整します。

堤体管理

監査廊内には漏水量計やたわみ計、地震計など様々な計測計器が設置されており、ダム堤体に異常が生じていないか常に計測と点検を行っています。



■ 堤体監査廊内の巡視

周辺管理

ダム湖及び周辺法面等に、異常・変調がないか、ゴミ等の不法投棄の監視を行っています。

水質調査

浅瀬石川ダムでは、貯水池やダムに流入する河川及び下流の河川の水質調査を実施しております。

調査は、貯水池及び下流河川に設置してある水質自動観測装置1箇所、定期採水5箇所により行っています。



■ 法面補修工事施工状況

環境調査

ダムの完成後の環境への影響と環境保全措置の効果を把握するため、水質や動植物調査、鳥類、魚類等のモニタリング調査を実施しております。

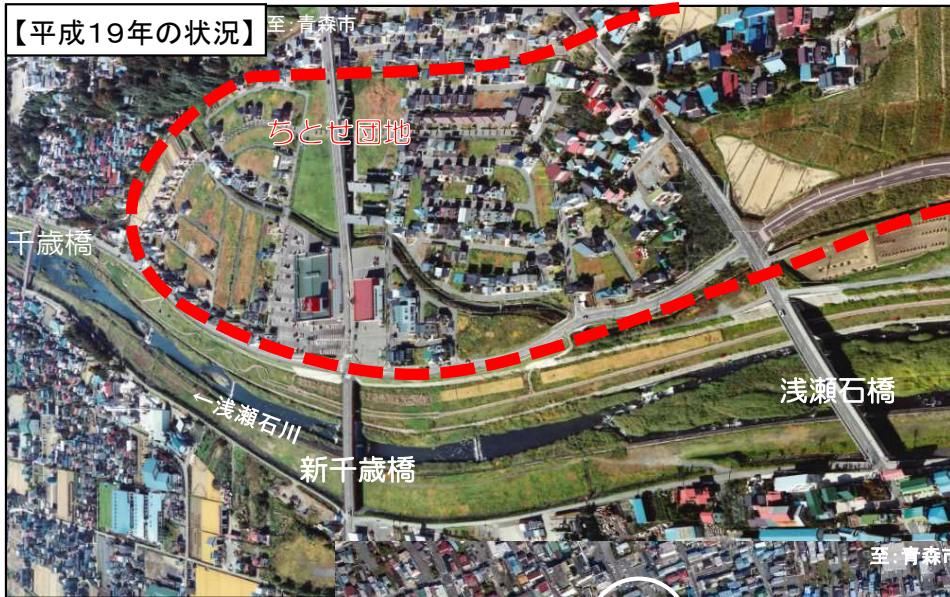
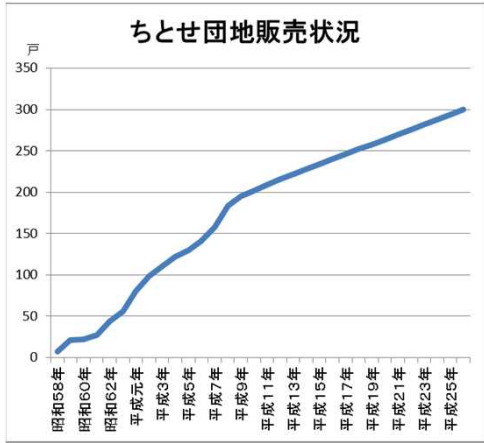


■ 貯水池巡視

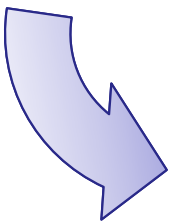
建設事業の効果

「浅瀬石川ダム」により治水安全度が向上し、“まちづくり”に寄与

- ・昭和50年8月、浅瀬石川の未曾有の洪水により、黒石市内1,213戸に甚大な被害。
- ・昭和63年3月、「浅瀬石川ダム完成」や、「浅瀬石川災害復旧助成事業」などにより、治水安全度が飛躍的に向上。
- ・浅瀬石川沿いには、大型店舗や住宅団地が形成され、まちづくりが大きく展開。



治水の碑

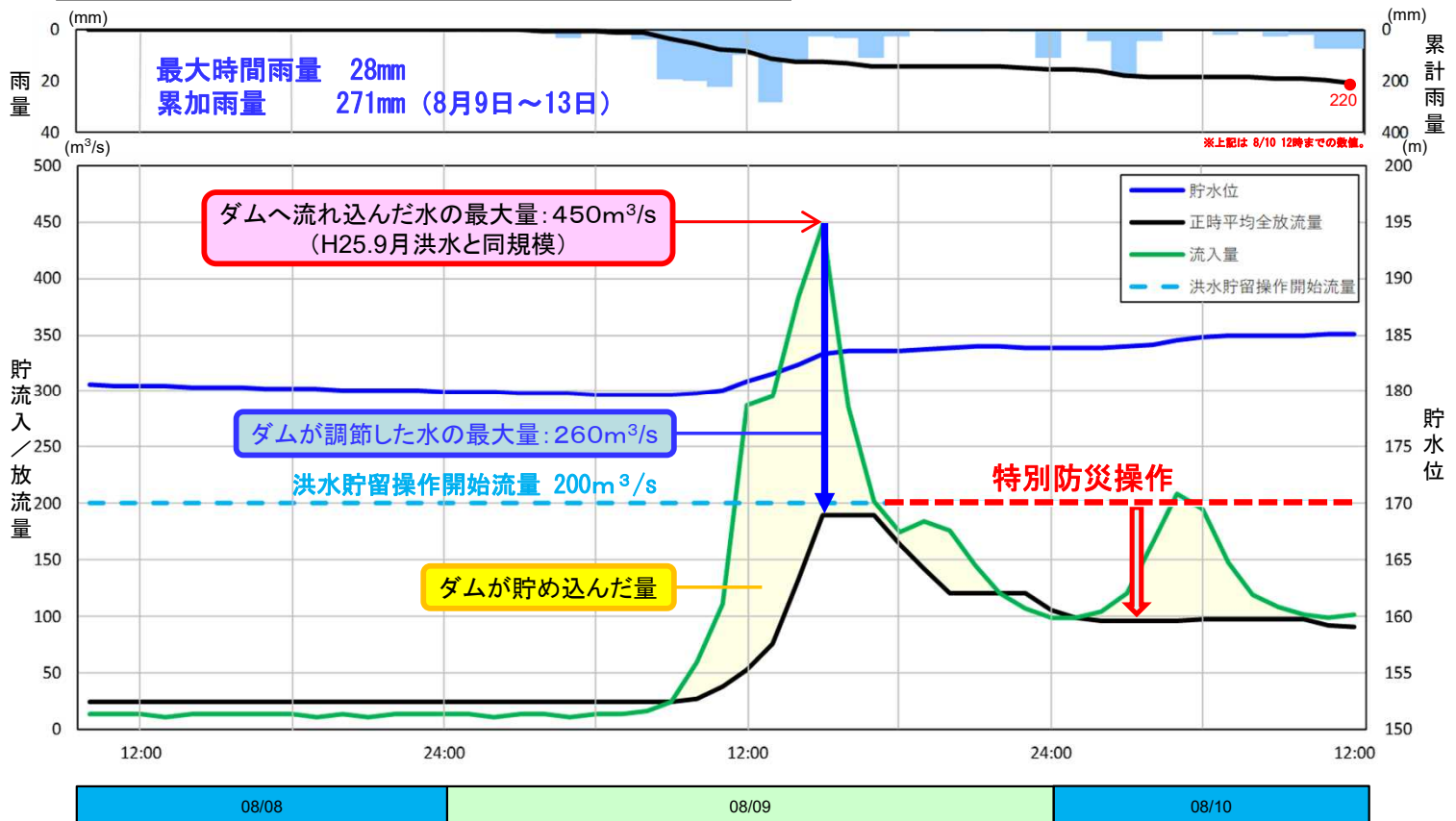


ダムの効果（洪水）

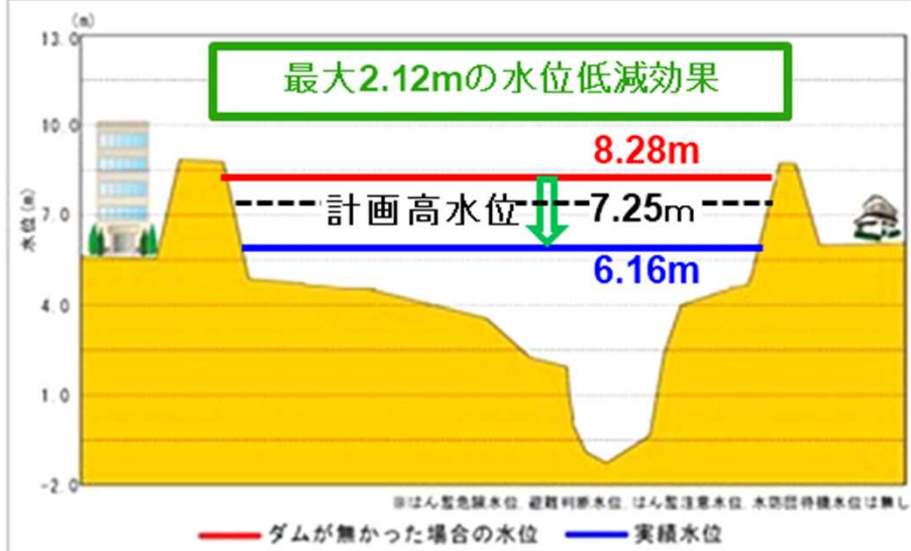
- ◆ 8月9日からの前線や低気圧に伴う降雨により、**ダム流域平均雨量累計271mm**を記録するとともに、**ダムへの流入量が450m³/s**を記録した。
- ◆ ダムの洪水調節により朝日橋水位観測所（田舎館村大字川部）の水位を約**2.12m**低減出来たと推測。
- ◆ **特別防災操作**を実施して、下流河川の水位低減のため、ダム放流量を絞り込みました。

令和4年8月9日出水における浅瀬石川ダムの効果

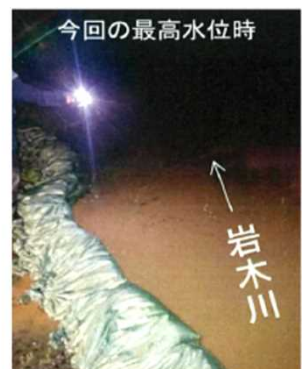
浅瀬石川ダム 流域雨量、流入量・放流量データ



浅瀬石川ダム防災操作効果（朝日橋地点）



▲ 放流中の浅瀬石川ダム (令和4年8月8日)



ダムの効果（渇水）

渇水対策

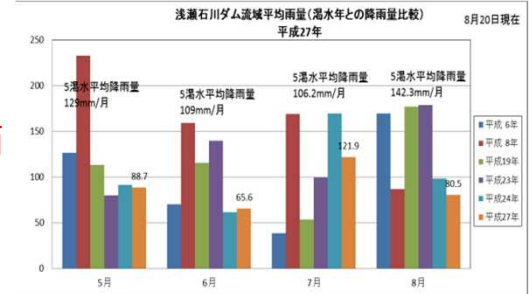
浅瀬石川ダムが水不足に悩まされ続けた津軽平野を潤しました

◆浅瀬石川ダムからの利水補給の効果

- 津軽地域8市町村※ **7,153haの水田（8,339人の従事者）**で使用。（浅瀬石川土地改良区より）
水稻 約44,800tの収量（青森県全体の15%に相当：浅瀬石川土地改良区提供）
- 朝日橋水位観測所（下流基準地点）での**維持流量2.2m³/sを確保**。

平成27年渇水における浅瀬石川ダムの効果

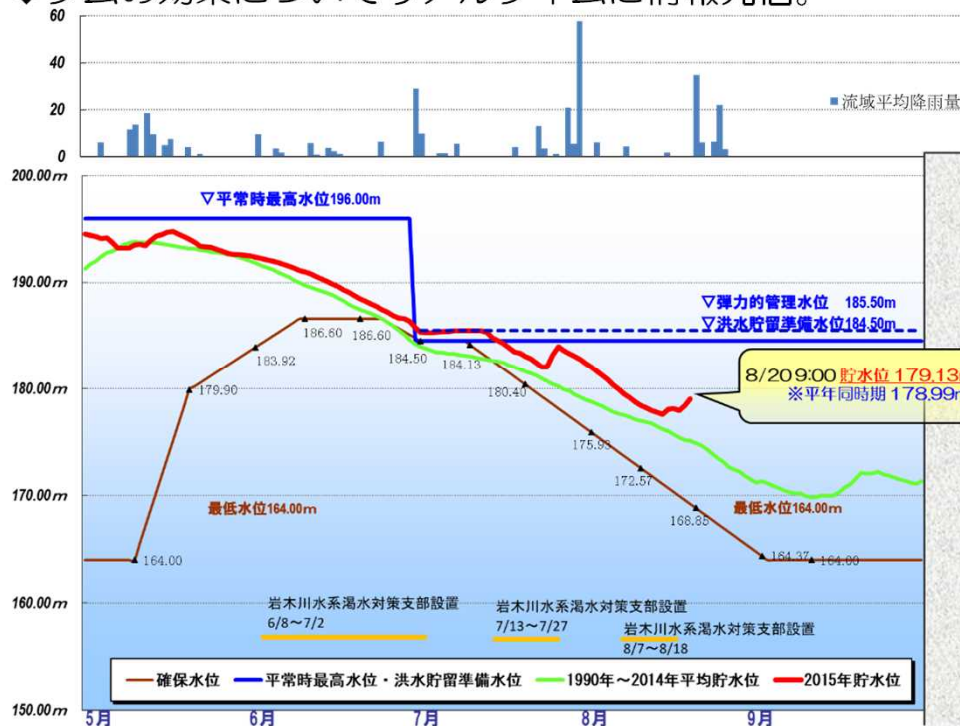
- ◆平成27年度は過去の代表的な渇水年よりも少ない降雨
 主要な渇水年の平均降雨量の約70%の降雨量
- ◆利水者との綿密な連絡調整・協力体制による貯水位運用
- ◆浅瀬石川ダムの対応



主要5渇水の平均降雨量 **121.7mm/月**
 平成27年の平均降雨量 **89.2mm/月**

- 効率的・効果的貯水位運用により、下流への補給と高い貯水位を両立
 - ☞貯水位低下と高温による水温上昇の影響によるプランクトン増殖（かび臭発生）の回避
- 維持流量を確保し、岩木川本川へも補給
 - ☞利水者（発電・かんがい）と綿密な調整

◆ダムの効果についてリアルタイムに情報発信。



8月20日9時現在 貯水位179.13m



下流河川の状況

◆ダムの効果のまとめ

●補給量

平成27年6月8日 渇水対策支部（青森河川国道事務所）設置以降の浅瀬石川ダムからの補給日数及び補給量（8月20日現在）

- 72日間の内59日の補給 約82% ●合計補給量 **2,541万m³**
- 一日平均 約35万m³の補給

『沖浦ダム健康診断』

浅瀬石川ダム完成に伴い水没した沖浦ダム(昭和20年完成)において、戦前から戦中における日本の大規模構造物の建設技術を再確認するために、コンクリート打設から80年を経過した平成28年に「沖浦ダムの健康診断」と称して、コア採取、各種調査を実施しました。

■沖浦ダム：青森県 / 目的：洪水調節・かんがい・発電 / 型式：直線越流型コンクリート重力式ダム

◆昭和11年(1936年)11月から本体コンクリート打設を開始した**日本初の多目的ダム**。

昭和8年(1933年)12月着手、昭和20年(1945年)3月31日完成。

◆完成から71年(H28.3時点)経過し、当時の土木技術を知る上で貴重な遺産。物資の供給の厳しい時代に技術力を発揮し、内部・外部コンクリート打設

◆平成28年(2016年)3月15日から東北技術事務所と連携し調査開始。
貯水位低下を確認(平成28年9月頃)し、コアリング、各種試験後、
試料については、浅瀬石川ダム資料館等へ展示。

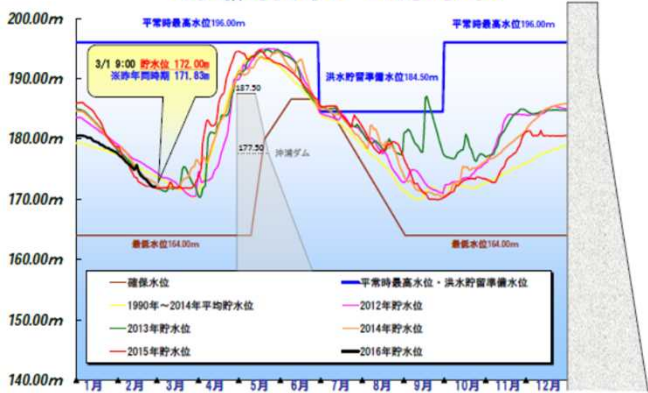
内部は粗石コンクリート、外部は1:3:6として側壁、基礎根入等重要な部分は1:2:4コンクリートを用いた。

沖浦ダム(我が国最初の多目的ダム)ー沖浦ダム関連資料集ーから抜粋



管理中の沖浦ダム(昭和39年撮影)

浅瀬石川ダム貯水位



施工状況(右下:粗石)



現在の沖浦ダム(H26.9撮影)

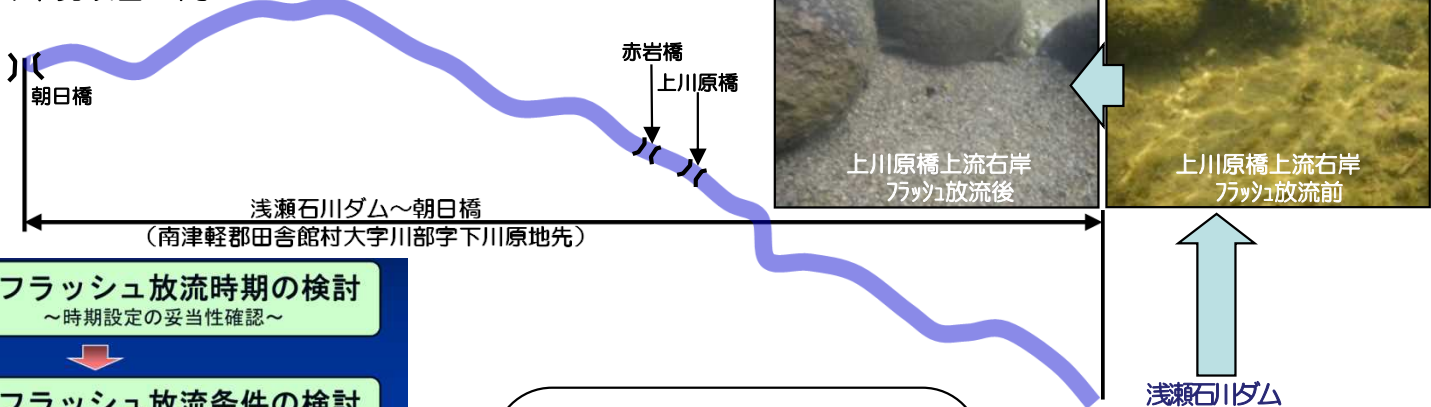
河川環境改善に向けたフラッシュ放流

◇日時：平成25年6月28日

◇放流量：発電放流の最大(22.5m³/s)流量で2時間放流を実施
(この時期の通常の放流量は15m³/s程度)

◇効果調査：放流により、河川内のよどみや枯れた藻類、堆積した砂や泥などを洗い流す
フラッシュ放流の効果について前回調査と比較。

～河川環境改善区間～



①フラッシュ放流時期の検討

～時期設定の妥当性確認～

②フラッシュ放流条件の検討

～放流規模の比較評価(活用効果・運用面)～

③フラッシュ放流条件の設定

詳細検討(H23の更新・追加)

④活用放流方法
(H24～25データ追加・詳細更新)

実運用計画の策定

- ・下流河川への放流量が少ない。
- ・6月中旬以降にダムゲートからの放流を実施していない。
- ・フラッシュ放流が可能な水量がダムに確保されている。

上記の条件等が全て満足する場合にフラッシュ放流を実施。



津軽ダムの概要

津軽ダムの目的

津軽ダムは、6つの目的を持つ「多目的ダム」です。

1

洪水被害を
軽減します

ダム地点計画高水流量
3,100m³/秒 → 160m³/秒に調節
1秒間に大型バス約30台分の水量
を約1.5台分に減らして流します。

2

流水の正常な機能
を維持します

既得用水の安定補給を行う他、河川
環境の保全として、上岩木橋地点で
5m³/秒、五所川原地点で19m³/秒
を確保します。

3

かんがい用水
を補給します

岩木川左岸地区の約9,600haの農地に対
し、かんがい用水を補給
これにより約4万6千tの水稲生産が可能。
約80万人の年間消費量を賅うことが可能。
(青森市を含む津軽地方全域の人口に相当)

4

水道用水を
供給します

弘前市に対し、新たに
14,000m³/日を供給
約4万7千人が1日に使用可能な量

5

工業用水を
供給します

五所川原市に新たに
10,000m³/日を供給

6

発電を
行います

最大出力8,500kWの発電
約12,300世帯を賅う電力量
弘前市・西目屋村の約12%に相当

津軽ダムのあゆみ

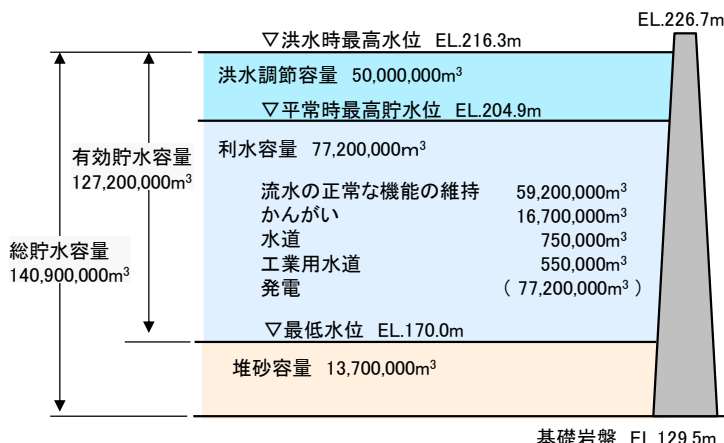
地域・流域の皆様のご支援、ご協力をいただき、津軽ダムが完成しました。

昭和63年	4月	実施計画調査開始（津軽ダム調査事務所）
平成3年	4月	建設着手（津軽ダム工事事務所）
平成5年	11月	津軽ダム基本計画告示
平成8年	12月	下流工事用道路着手
平成12年	8月	「津軽ダムの建設に伴う一般補償に関する協定」締結（補償対象179世帯）
平成17年	7月	津軽ダム基本計画第1回変更
平成19年	8月	津軽ダム基本計画第2回変更
平成20年	11月	津軽ダム本体工事着工式
平成22年	5月	津軽ダム本体コンクリート打設開始式
平成22年	10月	津軽ダムの日（感謝と定礎の式典）
平成24年	4月	新ダム湖を「津軽白神湖」と命名
平成24年	10月	木戸ヶ沢貯水池保全施設定礎式
平成26年	5月	木戸ヶ沢貯水池保全施設堤体コンクリート打設完了式
平成26年	8月	津軽ダム本体コンクリート打設完了式
平成26年	10月	付替県道全線開通
平成28年	2月	湛水式（試験湛水開始）
平成28年	9月	試験湛水終了
平成28年	10月	竣工式
平成29年	4月	管理運用へ移行

津軽ダム・貯水池の諸元

津軽ダム及び貯水池「津軽白神湖」の諸元は、以下のとおりです。

ダム・貯水池諸元	
河川名	一級河川岩木川水系岩木川
流域面積	172.0km ²
湛水面積	5.1km ²
総貯水容量	140,900,000m ³
型式	重力式コンクリートダム
堤頂標高	EL.226.7m
ダム高	97.2m
堤頂長	342.0m
堤頂幅	9.0m
堤体積	759,000m ³
取水設備	選択取水（多重式ゲート）
放流設備	常用洪水吐き 幅4.3m×高さ4.4m×2門 コンジットゲート 幅3.9m×高さ3.6m（吐口）
総事業費	約1620億円

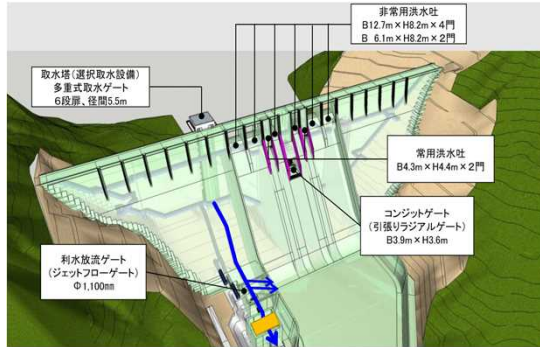
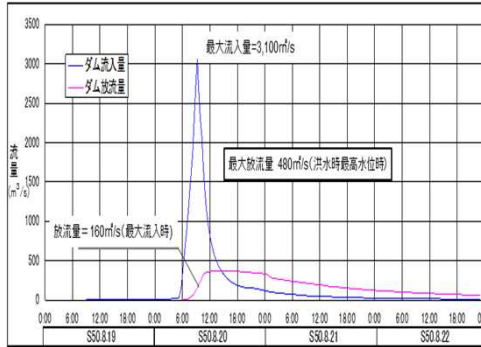


ダムの運用

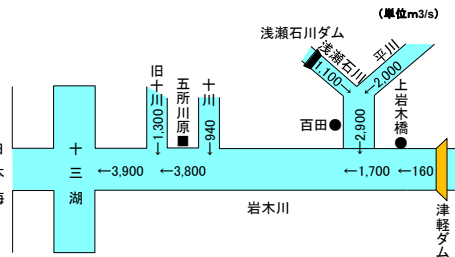
洪水調節計画

◇津軽ダムは、自然調節方式を採用しています。

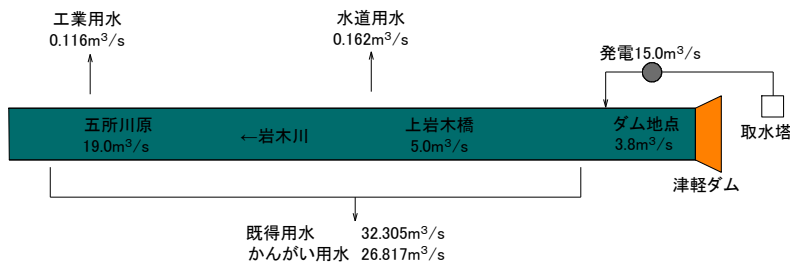
洪水調節図



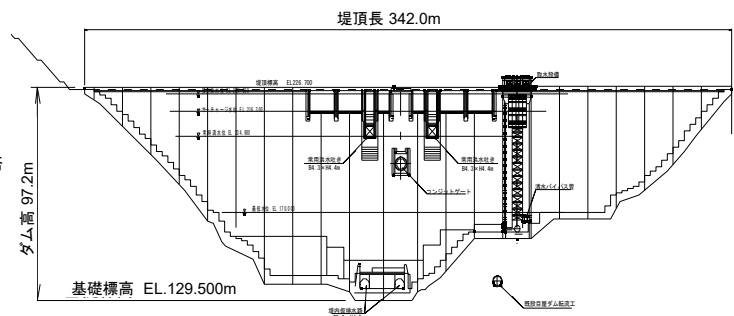
岩木川計画高水流量配分図
岩木川水系河川整備基本方針（平成17年5月20日策定）



取水計画概略図



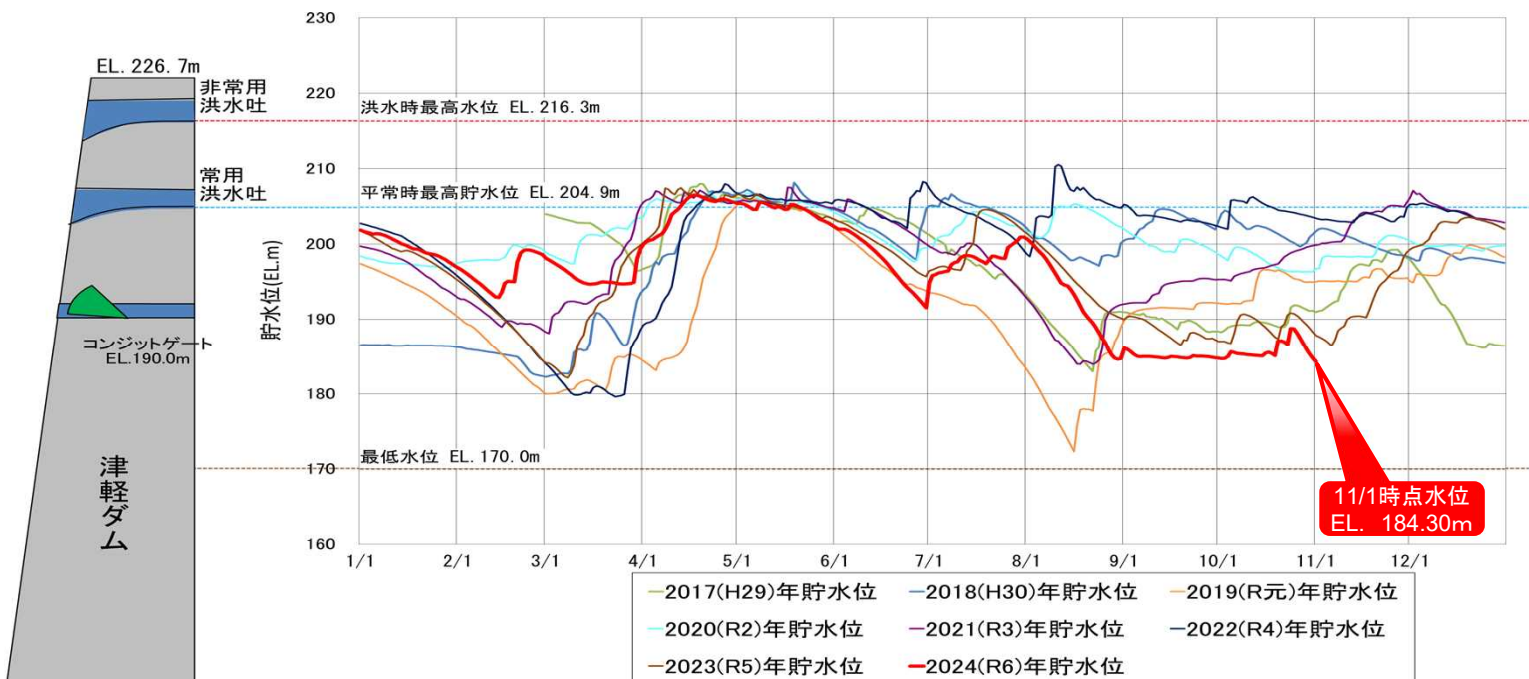
ダム上流面図



貯水位運用状況

津軽ダムは、平成29年4月から、本格的な運用を行っております。

※毎日9時データ



今年度事業概要

【主な工事】

- ダム湖に流れ込む**流木塵芥の回収**を行いダム施設機能を維持します。
- 貯水地周辺の**除草**を行います。



流木処理状況



除草作業状況

【主な調査】

- 河川水辺の国勢調査として、令和6年度は**底生動物、動植物プランクトン、ダム湖利用実態調査**を実施します。
- ダム管理の基本となる、流量観測や、定期採水及び水質分析を行うとともに、治水・利水上問題となるダム湖内の堆砂量の進行について、調査及び観測などを継続的に実施します。
- 貯水地周辺の**地すべり箇所**の継続監視・巡視を実施します。



定期採水状況



地すべり観測状況

【ダム管理】

- ダムの適正な管理のため水文データ（雨量・水位）収集や、水質調査を実施するほか、ダム堤体観測データ（漏水量・たわみ）を収集しダムに異常が無いか監視を続けます。
- 津軽ダムに関わる通信設備及び放流設備等の点検を行います。



雨量計点検状況



放流設備点検状況

水質保全対策

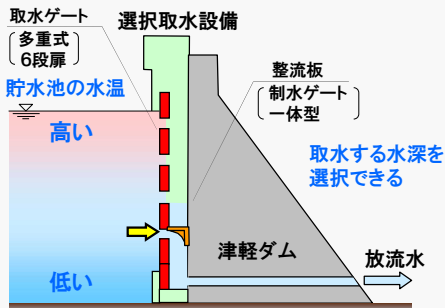
津軽ダム完成後の貯水池の水温および土砂による水の濁りについて、下流河川への影響を軽減するための取り組みとして、以下の4つの環境保全措置を行っています。

- ① 選択取水設備・・・放流水の適温水化
- ② 環境放流設備・・・洪水時の濁水対策
- ③ 水質保全施設・・・濁水時の濁水対策
- ④ 清水バイパス・・・放流水の濁水対策

選択取水設備

貯水池内は水深によって水温が異なることから、下流の環境に適した水温層を選択して取水放流する設備です。

ゲート形式は、6段の多重式ゲートを採用しております。

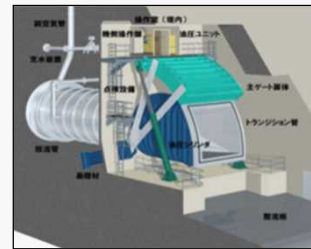
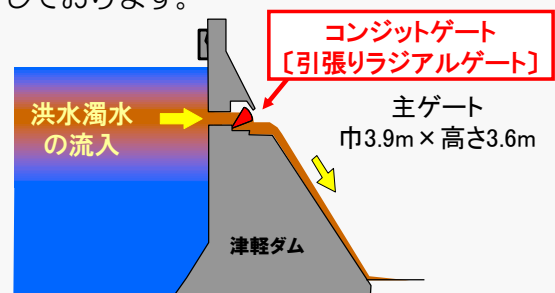


■ 選択取水設備

環境放流設備

洪水時に高濁度躍層から濁水を早期排出することにより、貯水池内の濁水長期化の軽減を図るための設備です。

ゲート形式は、国内最大の引張りラジアルゲートを採用しております。



■ ゲート模式図



■ コンジットゲート

水質保全施設

濁水時（貯水位低下時）に貯水池内に堆積した濁質が露出し、浸食崩壊による再懸濁の発生することから、常時水面で覆い再懸濁を防止するための施設です。

貯水池上流に2基あります。



■ 1号水質保全施設

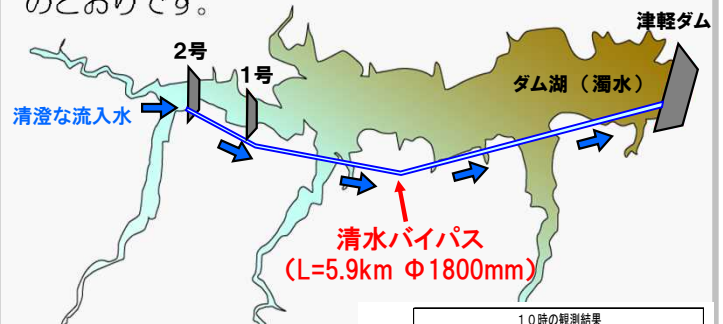


■ 2号水質保全施設

せいすい 清水バイパスの効果

貯水池上流の清澄な流入水を直接選択取水設備へ導き、ダムからの濁水を希釈する施設です。

令和元年8月23日出水後の8月26日から清水バイパスを活用して放流水を希釈させた効果は下表のとおりです。



■ 清水バイパス

稼働月日	10時の観測結果				
	2号水質保全施設濁度	①ダム取水塔地点濁度	②ダム直下地点濁度	ダムからの放流量	濁度差 ②-①
8月26日	13.6	107.9	28.1	6.25	-79.8
8月27日	11.3	86.9	29.0	7.23	-57.9
8月28日	10.0	77.6	27.4	7.72	-50.2
8月30日	21.8	77.9	26.3	4.36	-51.6
8月31日	13.2	54.4	26.0	4.37	-28.4
9月2日	12.5	58.8	12.9	4.39	-45.9
9月3日	9.2	53.8	10.8	4.36	-43.0
9月4日	9.0	45.9	9.4	3.95	-36.5

濁水開始直後から効果が顕著に現れており6日以後はダム直下地点の濁度が25度（水質基準）を下回っている。

水質保全対策

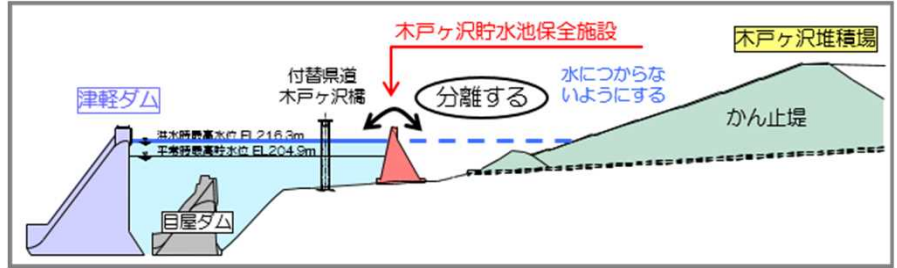
木戸ヶ沢貯水池保全施設

木戸ヶ沢貯水池保全施設は、旧尾太鉱山の鉱滓かん止堤が津軽ダムの湛水によってその影響を受けないように貯水池から縁切りするための施設で、平成27年3月に完成しました。



■ 木戸ヶ沢堆積場（既設）と木戸ヶ沢貯水池保全施設

貯水池とかん止堤を分離する止水施設を設置

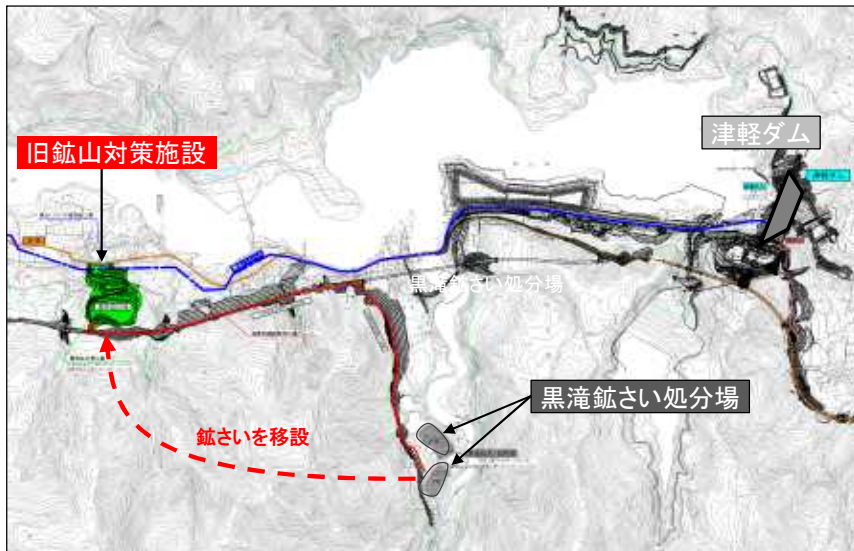


■ 平成27年6月撮影（かん止堤側より）

木戸ヶ沢貯水池保全施設諸元	
型式	重力式コンクリートダム
堤頂標高	EL.226.7m
堤高	47.2m
堤頂長	98.0m
堤体積	36,400m ³

旧鉱山対策施設

津軽ダム貯水池内には旧鉱山施設（黒滝鉱さい処分場）があり、津軽ダムの湛水により水没することから、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、事業用地内に整備した旧鉱山対策施設への移設を行いました。その後、最終処分場として5年間適正に維持管理された後、令和3年9月30日に廃止されました。（産業廃棄物最終処分場の廃止の確認）



■ 鉱さい移設位置



■ 令和5年10月撮影 旧鉱山対策施設跡

管理状況

洪水時の対応

洪水が予想される時には、気象情報や各観測所からの雨量・水位等のデータ情報をもとに、今後のダム流入量を予測し、洪水調節及び放流量の見通しを検討します。放流に当たっては、あらかじめ河川を利用している人や下流沿川住民にスピーカーやサイレンによって注意を喚起し、警報車によるパトロールを行う一方、関係する機関に通知します。

平常時の対応

ダム下流河川の流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給等のために、河川流量を日々監視し、ダムからの放流量を調整します。

堤体管理

監査廊内には漏水量計やたわみ計、地震計など様々な計測計器が設置されており、ダム堤体に異常が生じていないか常に計測と点検を行っています。

周辺管理

ダム湖及び周辺法面等に、異常・変調がないか、ゴミ等の不法投棄の監視を行っています。

水質調査

津軽ダムでは、貯水池やダムに流入する河川及び下流の河川の水質調査を実施しております。

調査は、貯水池及び下流河川に設置してある水質自動観測装置4箇所、定期採水7箇所により行っています。

環境調査

ダムの完成後の環境への影響と環境保全措置の効果を把握するため、水質や動植物調査、希少猛禽類等のモニタリング調査を実施しております。



■ 洪水予測・放流計画



■ 補給のための放流



■ 揚圧力の計測（基礎排水孔）



■ 調査状況（水生生物）

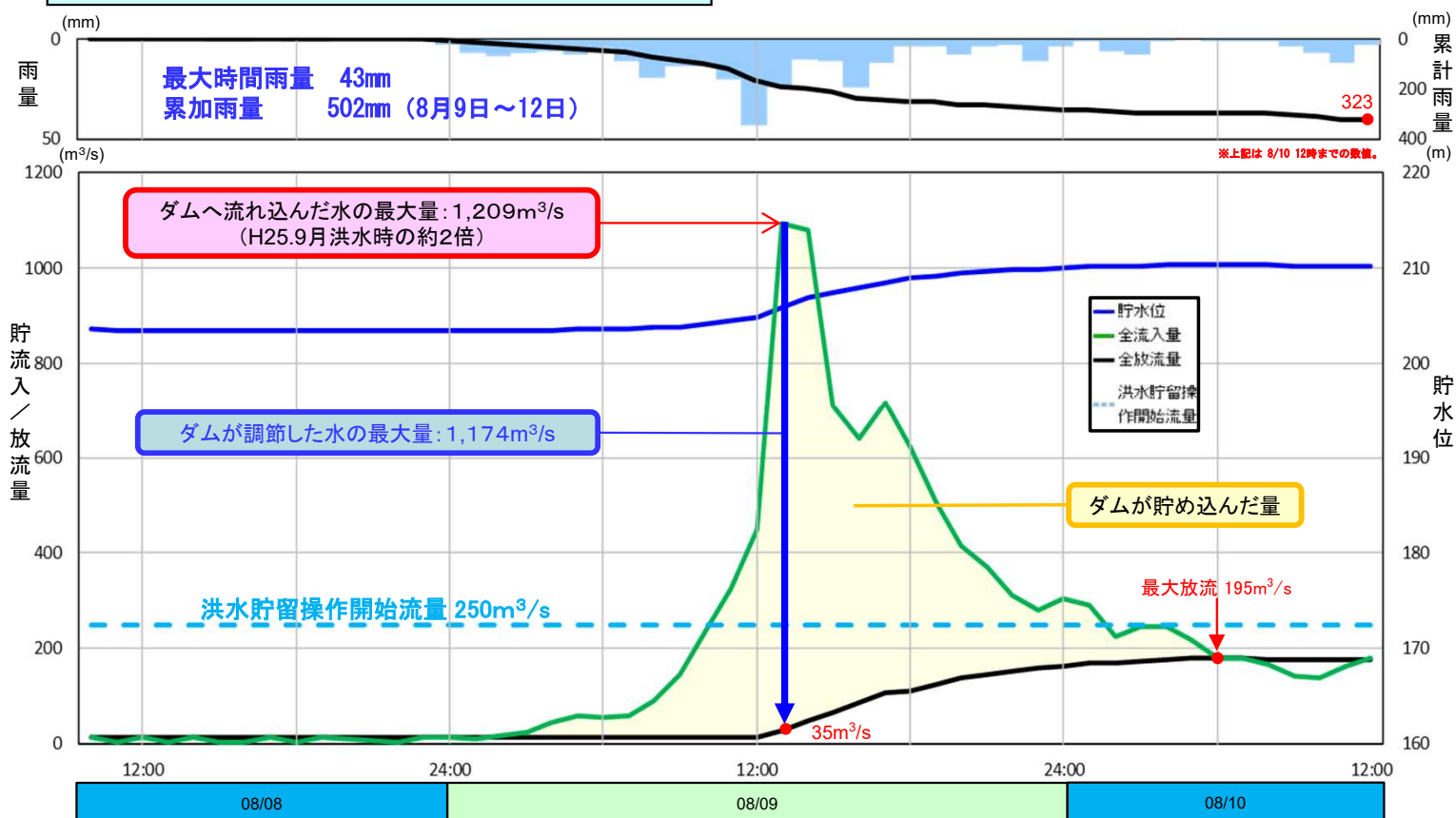
ダムの効果（洪水）

洪水対策

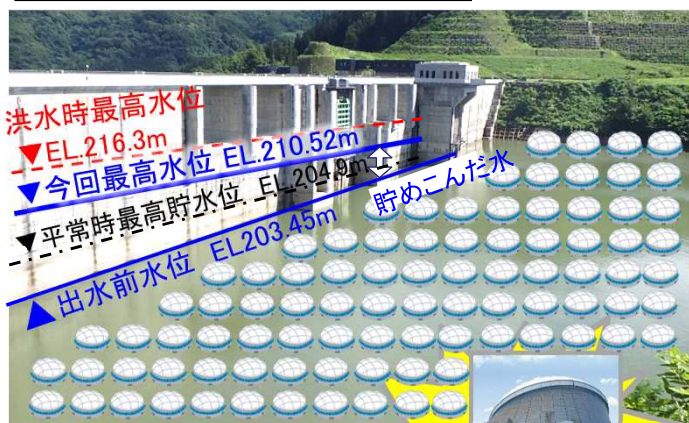
令和4年8月洪水において、下流河川の水位を低下させました

- ◆ 8月9日からの前線や低気圧に伴う降雨により、**ダム流域平均雨量累計502mm**を記録するとともに、**ダムへの流入量が1,209m³/s（既往最大流入量）**を記録しました。
- ◆ 津軽ダムに貯め込んだ水の量は、つがる克雪ドーム（五所川原ドーム）約89杯分
- ◆ ダムの洪水調節により**上岩木橋水位観測所（弘前市下湯口字青柳）**の水位を最大約**2.28m**低減出来たと推測されます。
- ◆ 今回、津軽ダムに貯めた水の量は約2800万m³で、目屋ダム（平成27年管理終了）の洪水調節容量を約400万m³上回るため、津軽ダムがなかったら**緊急放流（流入量をそのまま放流）**の可能性があり、さらに下流河川の水位が上昇する恐れがありましたが、津軽ダムが**ほぼ全量を溜め込むことにより岩木川氾濫の危険を回避**できました。

津軽ダム 流域雨量、流入量・放流量データ



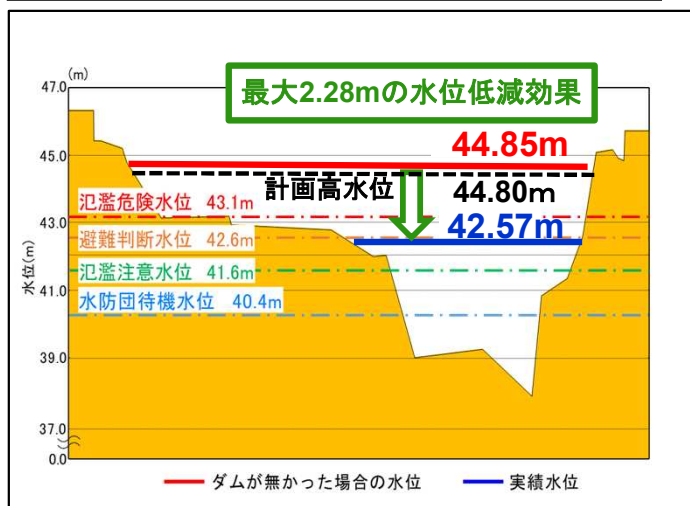
津軽ダムに貯め込んだ量



※1 貯水量：27,997,000m³

つがる克雪ドーム
約89杯※1

津軽ダム洪水調節効果（上岩木橋地点）



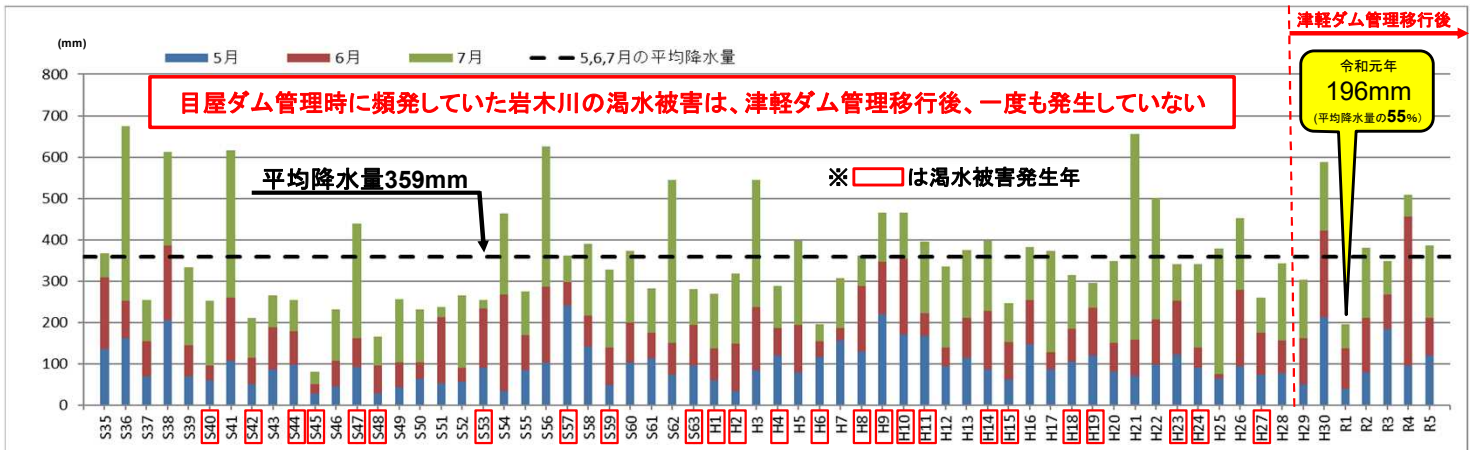
ダムの効果（渇水）

渇水対策

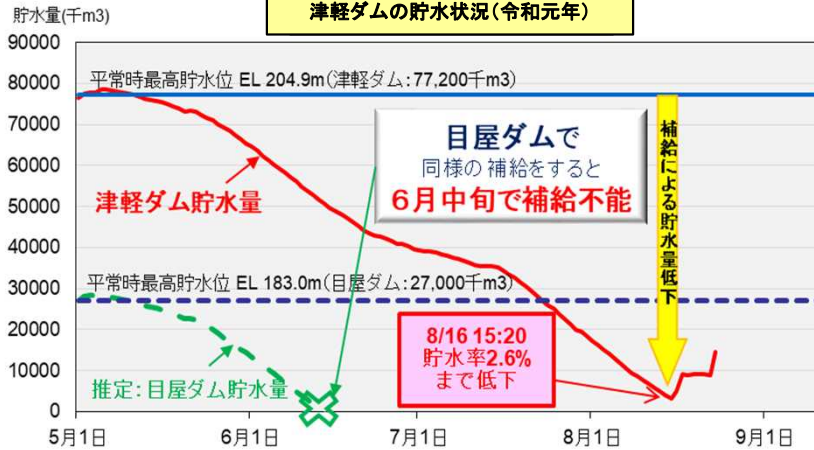
津軽ダムが水不足に悩まされ続けた津軽平野を潤しました

- ◆ 令和元年は津軽ダム流域において降水量が少ない傾向にあり、特に5月～7月の**累積雨量**は平年値に対して約55%程度と**管理開始(H29.4)**以降で**最少値を記録**しました。
- ◆ 平成以降では、平成6年（195mm）に次ぐ第2位（196mm）を記録し、**ほぼ第1位と同量の少雨**を記録しました。
- ◆ 利水補給量は6月中旬には目屋ダムの貯水量2700万m³を超過しましたが、再開発の**津軽ダムでは貯水率が2.6%まで低下したものの、補給を継続**することが出来ました。

3か月間降水量(5月～7月) ダム地点



津軽ダムの貯水状況(令和元年)



過去の主な渇水及び令和元年の渇水対応

- ▶ 目屋ダムが最低水位以下となった年度(過去8回記録) S63に目屋ダムが完成以来、最低の貯水位を記録した。その他にも目屋ダム管理以降、S42、S48、S53、H8、H19、H23、H27に最低水位を下回る異常渇水を8回記録している。
- ▶ 渇水対応状況
上水道 → プール給水停止や大口需要事業所の給水カットを実施
かんがい → 番水制や用水不足地域へ集中送水を実施



■ 昭和63年8月
渇水時の目屋ダム

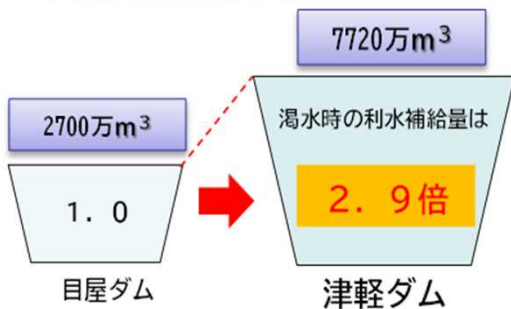


■ 平成23年8月
渇水時の美山湖

ダム再開発

ダムの再開発事業(H28.10完成)

再開発により津軽ダムが完成



■ 管理移行後、一番低い貯水位を記録
(R元.8.16 8時30分撮影)



■ 津軽ダム貯水池の状況写真
(R元.8.13 ドローンにて撮影)

津軽ダムでは、今回の小雨で渇水であったが、関係機関と連携を図り、調整することによって、上水道もかんがいにおいても被害は発生しなかった。

地元の方々の声

- ・ 津軽ダムができる前は、岩木川から直接取水していたが、岩木川で必要な水を取水できないことが度々あった。
- ・ 津軽ダムがなかった時は、6月に入ってから岩木川の水量が極端に減り、毎年のように番水があった。
- ・ 番水というストレスから解放された。
- ・ 津軽ダムができて、安定的に取水できるようになり水質も良くなった。

景観への取り組み①

周辺の豊かな自然景観との調和や世界自然遺産白神山地の玄関口にふさわしい景観創出を目指して、様々な景観配慮とデザインを実施しています。

白神の自然と人が出会う優しい新風景づくり

白神の自然と人(地元に住まう人、観光に来る人、管理に携わる人)が接する新しい場所

■ 景観基本方針

自然

自然環境の保全と復元
自然環境との調和

ひと 地域

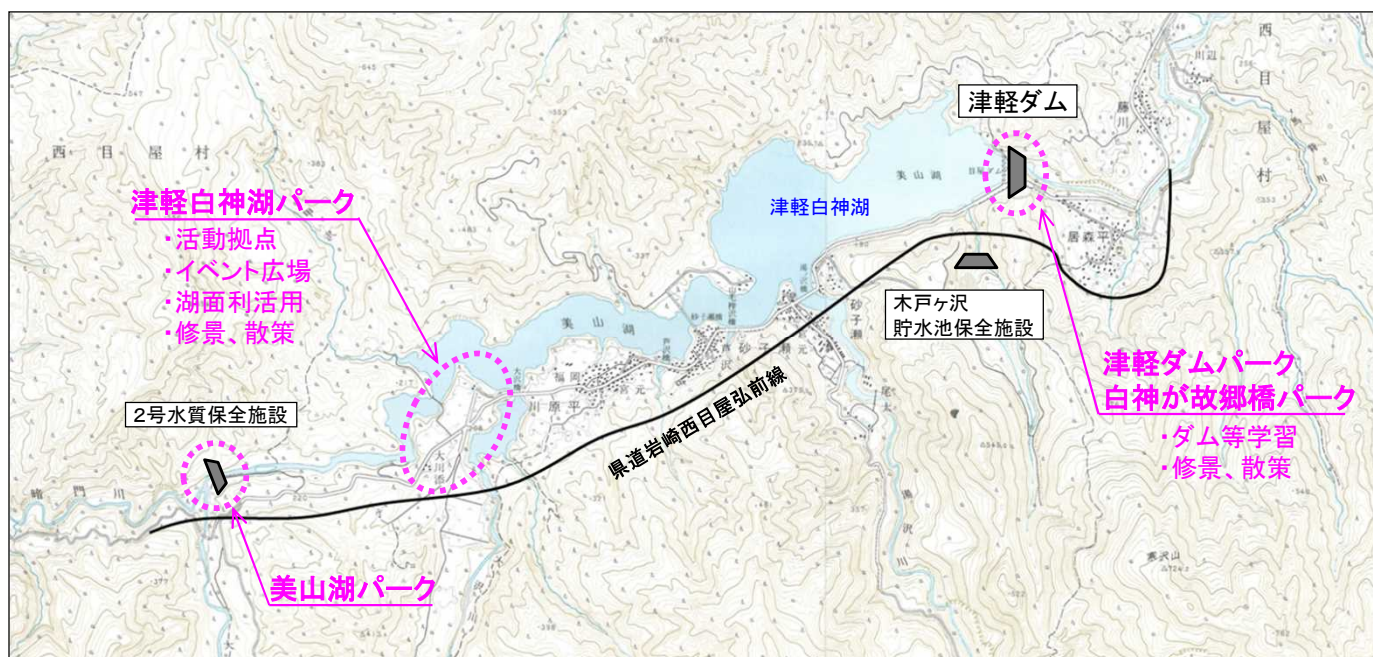
様々な体験ができる場づくり
地域に開かれた仕組みづくり

構造物

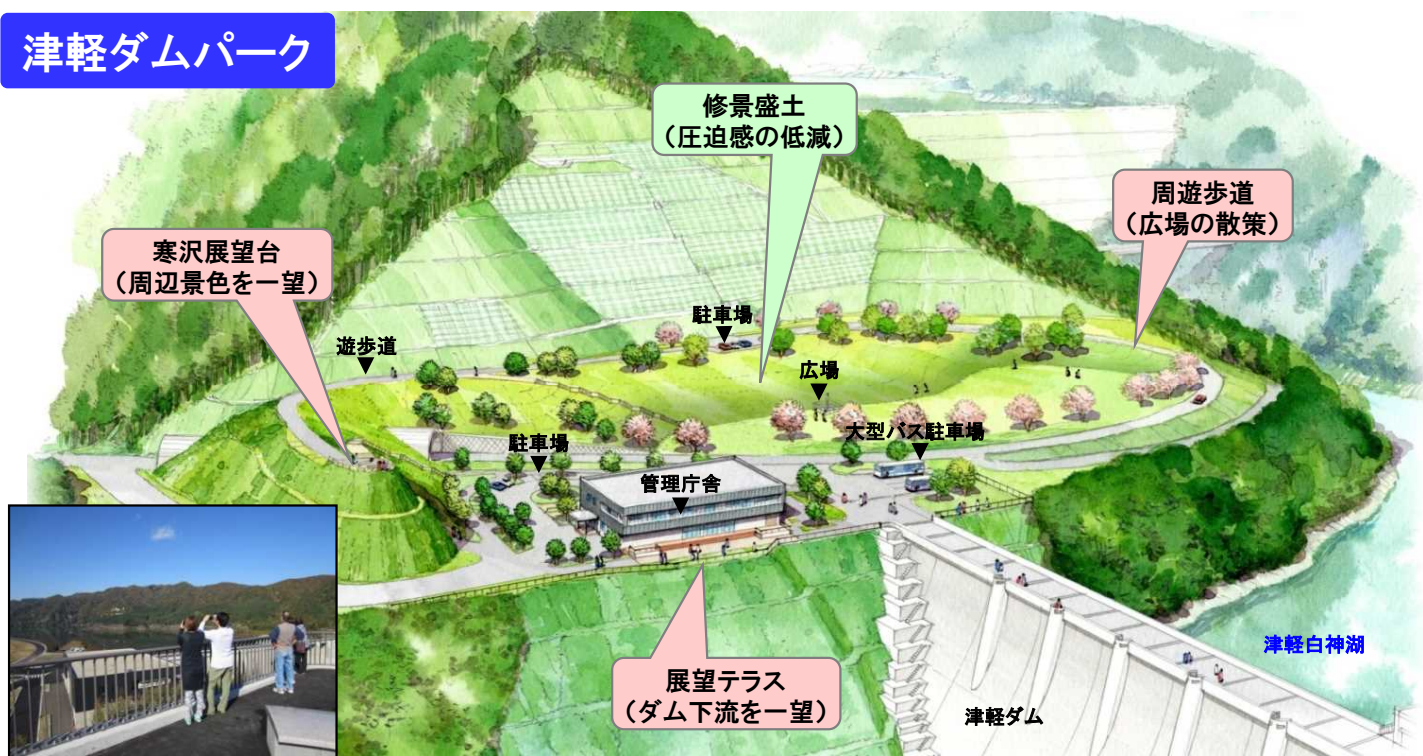
スケールに応じたデザイン
飽きのこないシンプルなデザイン

津軽ダム らしさ

津軽の気候、風土を活かしたデザイン
サイト周辺の立地特性を活かす



津軽ダムパーク



■寒沢展望台の状況

※全体イメージ図

景観への取り組み②

白神が故郷橋パーク

管理庁舎
(シンプルなデザイン)

管理庁舎

右岸天端広場

飾りピアの設置
(アクセント)

屋上を一般開放
(視点を創出)

ダム下流右岸広場

法面の緑化
(自然との調和)

記念広場
(記念碑の移設)

左岸天端広場

通信局舎

法面の緑化
(自然との調和)

ダム下流左岸広場

遊歩道

津軽ダム

バルブ室

発電所

白神が故郷橋

津軽白神湖

取水塔

コンジットゲート
(わさび色の色彩)

津軽白神湖パーク

艇庫

拠点整備エリア
(艇庫、記念碑)

修景・散策エリア
(桜並木の散策路)

湖面活用エリア
(カヌーなど)

津軽白神湖

駐車場

巡視船
着水地点

階段護岸

■階段護岸の整備状況



■艇庫全景



美山湖パーク

2号水質保全施設
(落水表情)

美山湖

津軽白神湖

視点場整備



■上流景色

津軽ダムがグッドデザイン賞 ～直轄のダムとしては全国初～

GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞

津軽ダムは2017年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。津軽ダムの景観デザインは、「白神の自然と人が出会う新しい風景づくり」を基本理念に、ダム本体のみならず、ダム湖周辺の関連施設に至るまで、一貫したデザインとすることで、ダム施設群と自然環境とが調和する、白神山地の来訪者を出迎えるのにふさわしい新しい風景を創出したことが高く評価されたものと思われます。

東北地方整備局では初となる今回の受賞を契機に、周辺地域活性化のため、地元自治体等と連携を図りダムツーリズムの推進に努めてまいります。

『グッドデザイン賞とは』

- 1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組み（公財）日本デザイン振興会主催
- デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加
- 受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれている



GOOD
DESIGN



環境保全への取り組み

津軽ダム周辺の環境は、旧目屋ダム完成以降、ダム湖と自然が調和した自然環境が生まれ、多くの野生生物が生息する豊かな生態系を形成しています。

津軽ダムは、こうした豊かな自然の恵みを未来に継承していく責務があると考え、動植物および生態系の調査・予測を行い、環境保全措置に取り組みました。

もうきんるい 猛禽類への配慮

工事期間中は、希少猛禽類の行動範囲や営巣～巣立ちの時期などの生息状況に配慮して、適宜対応を行ってきました。

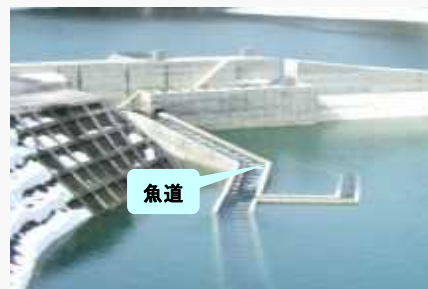
令和元年度は、クマタカ8ペア中4ペアが繁殖に成功するなど、豊かな自然環境が維持されていると判断されます。



■ 上空をはばたくクマタカ
(青森県RDB 2020年版 最重要希少野生生物)

魚類への配慮

貯水池内の横断工作物（1号、2号水質保全施設）に魚道を設置し、魚類の生息環境を保全します。

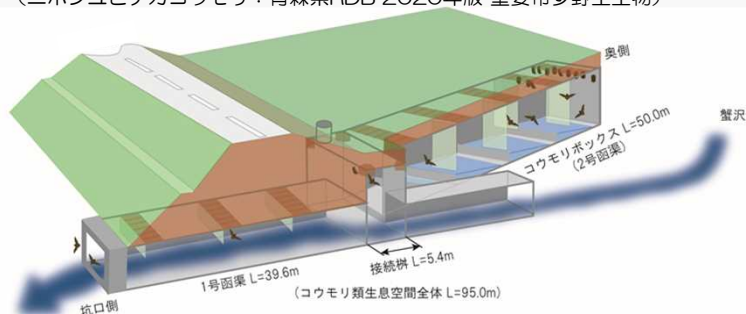


■ 2号水質保全施設の魚道

コウモリボックス

目屋ダム仮排水トンネルに生息していたユビナガコウモリを、人工洞窟「コウモリボックス」に移転したところ、令和元年度は1000個体以上の生息が確認されています。

(ニホンユビナガコウモリ：青森県RDB 2020年版 重要希少野生生物)



■ コウモリボックス概略図



■ 翼を広げたユビナガコウモリ（約30cm）



■ コウモリがつかまるボックス天井の凸凹



■ 群塊を形成するユビナガコウモリ

水源地域活性化への取り組み

ダム完成後におけるダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材などを活用した、水源地域の自立的・持続的な活性化の方策及び関係行政機関が行う支援方策などを定める「津軽ダム水源地域ビジョン」をとりまとめました。

水源地域の将来像「世界遺産と水源の里」の誇りを未来へ発信する

四つの基本方針を掲げました。



自然の恵みを守る

水源地域の豊かな自然環境を守るため、NPO法人等連携して環境保全活動等に取り組みます。



■ 湿地バイオトープ



津軽白神湖を活かす

津軽白神湖の広大な湖面を観光や学習の場として活用します。



■ 水陸両用バス



にぎわいを生み出す

地域がにぎわう場を創出するため各団体等と連携して、魅力のあるイベントを行います。



■ 冬フェスティバル



文化を伝える

西目屋村の歴史や文化を次世代へ継承するため、歴史・文化資源の掘起こし、伝えていきます。



■ 目屋豆腐

地域の活性化や交流人口の拡大のため、津軽ダム（津軽白神湖）や水源地域と周辺の豊かな自然環境・景勝地等を活用したダムツーリズムを地域と一体となって進めていきます。



ダム見学ツアー



水陸両用バス



カヌー体験

ニシメヤ・ダムレイクツアー Special

道の駅津軽白神発着の水陸両用バスツアーで、ダム湖の遊覧をお楽しみいただけます。また、津軽ダム内部の見学会も同時に行っているスペシャルツアーも行っております。（要予約）詳しくは（一財）ブナの里 白神公社津軽白神ツアーへお問い合わせください。

令和5年8月22日に水陸両用バスは乗車6万人を達成しました



ダム湖上を進む水陸両用バス



スペシャルツアーの見学会の様子

毎月第4金曜日！ 水陸両用バス乗車&津軽ダム内部見学

ニシメヤ・ダムレイクツアー

津軽ダム内部見学付き
水陸両用バス・スペシャル運行

実行日 2024年
5月24日(金)
6月28日(金)
7月26日(金)
8月23日(金)
9月27日(金)
10月25日(金)

運行のりば
道の駅 津軽白神
インフォメーションセンター
(青森白神ツアー)
(※一歩の里(2F)にて申し込み受付)

運行ダイヤ (※申込日のみ/乗車人数あり)
スペシャル運行時間帯
運行時間 9:30
乗車料 13:00

乗車料 (一入/大人料金/小学生以上)
大人(小学生以上) 3,000円
小学生 2,000円

予約受付 電話予約：乗車2ヶ月前日、11:00まで受付
予約受付：常設企画室の3日前まで受付
※乗車に空きがある場合は、当日の受付も承ります。
(※お電話予約は1ヶ月前まで)

予約申込方法
電話予約：0172-85-3315
予約受付：常設企画室
予約受付時間：9:00~17:00
予約受付場所：道の駅 津軽白神 インフォメーションセンター

お問い合わせ
0172-85-3315
津軽白神ツアー

水陸両用バスとダム見学が一緒になった
ダムレイクツアーSpecialの募集チラシ

地域との連携

浅瀬石川ダム ダム湖ふれあいデー

- ◆森と湖に親しむ旬間（7月）の一環として開催
- ◆ダム、河川等への関心を高め、理解を深めることを目的

令和6年7月28日(日)に「ダム湖ふれあいデー」を開催。ステージイベントのほか、カヌーによる巡視体験、ダム堤体・発電所見学ツアー、水の飲み比べ、夏休み工作コーナーなどが催されました。



▲ダム効果模型実験



▲発電所見学

▲告知チラシ

浅瀬石川ダムライトアップ

平成27年7月から実施
ダム周辺で行われるイベントと合わせて活性化を図る。



[R5年 冬のライトアップ]



浅瀬石川ダム

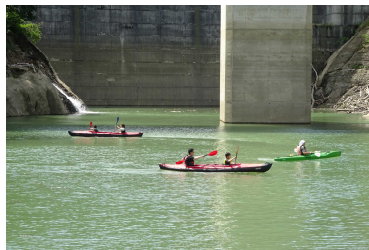
黒石温泉郷

中野もみじ山

「森と湖に親しむ旬間」イベントの開催

令和6年7月20日(土)、21日(日)に西目屋村で行われた『にしめやランド2024』の併催イベントとして、「津軽ダムサマーフェスタ」を開催。津軽ダムパークで『ダム見学会』『ダム効果模型実験』『津軽ダムクイズラリー』『紙ヒコキ飛ばし』『建設機械搭乗体験』などを実施しました。

▲告知チラシ



▲カヌー巡視体験

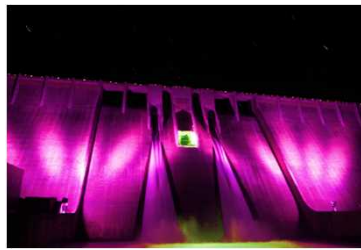


▲ダム見学

津軽ダムライトアップ

津軽ダムのライトアップを、季節ごとに実施しております。

春



夏



秋



冬




地域との連携

災害時における周辺施設の利用に関する協定

- ◇浅瀬石川ダム上流域の山間部には宅地・集落が点在、災害時には孤立の恐れ。
- ◇ダム周辺施設（ダム資料館、虹の湖公園）を防災拠点と位置づけ、住民や観光客の避難場所や災害対策車両の集結・待機場所等に活用する協定を黒石市と締結（H21.7.23）


※ 岩手・宮城内陸地震の際、胆沢ダム学習館が有効活用されたことを踏まえた協定締結。

【浅瀬石川ダム資料館】
地域防災センター
災害時対策本部
住民避難施設



ダム資料館

【虹の湖公園】
災害対策車等待機場所
臨時ヘリポート
資機材・物資保管場所

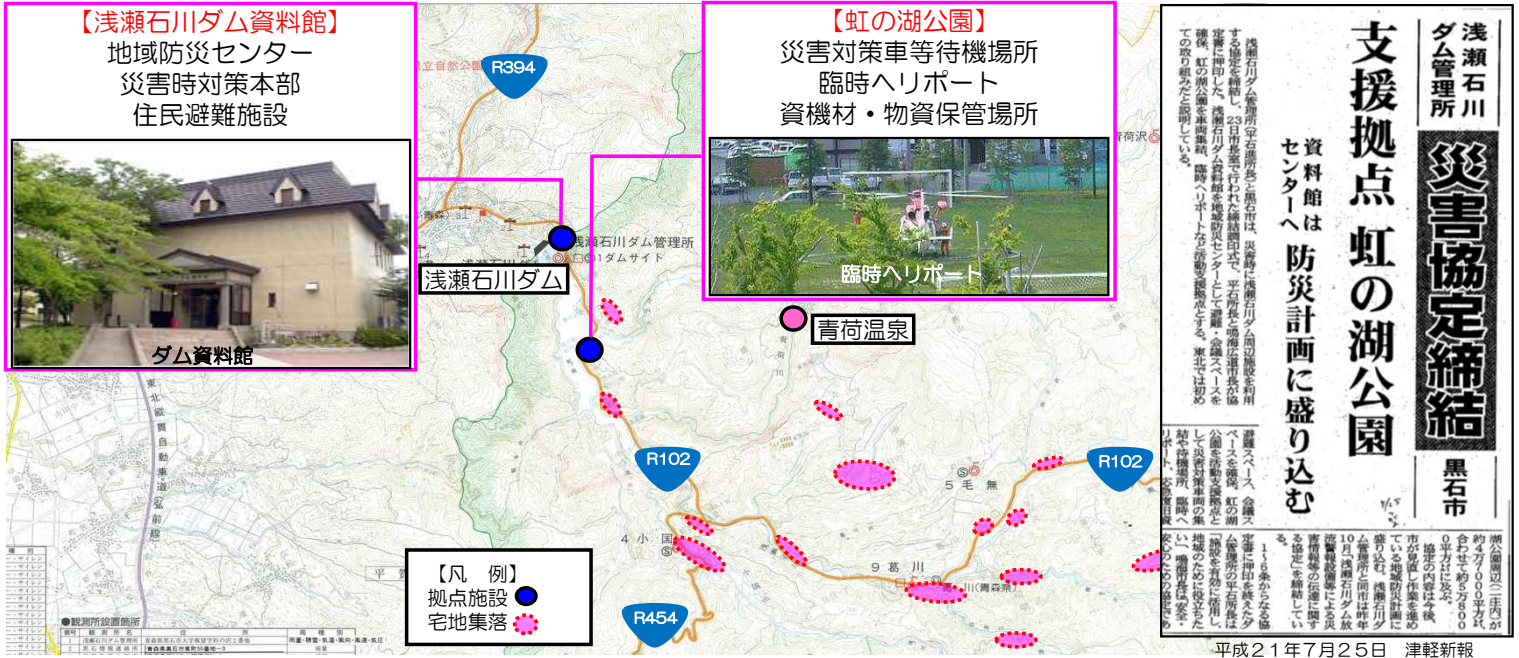


臨時ヘリポート

支援拠点 虹の湖公園

資料館はセンターへ防災計画に盛り込む

浅瀬石川ダム管理事務所
黒石市



【凡例】
拠点施設 ●
宅地集落 ●

平成21年7月25日 津軽新報

地域イベントと連携した津軽ダムの広報

令和4年10月8日(土)、9日(日)に行われた『白神山地ビジターセンター“夏のふれあいデー”(白神山地ビジターセンター主催)』では、岩木川ダム統合管理事務所も協賛させていただき、『津軽ダムパネル展』を行いました。令和5年2月18日(土)には、開所以来初となるスノーアート制作を津軽ダムパークで実施しました。また、令和6年2月17日(土)にスノーアートを実施しましたが、周辺地域では少雪のため全て中止され、津軽地方では唯一の実施となりました。



地域との連携

ダム効果のリアルタイム公表

- ◆ダム下流基準地点における、『**ダムの効果をリアルタイム**』で公表。
- ◆ホームページに従来からのダムの状況とともに掲載。
洪水時は「**流入量の低減効果**」、渇水時は「**補給効果**」がひと目で分かる。



～下流へ補給している場合～

流入量より、放流量が多い場合、『ダム放流による水位増加分』として表示。
朝日橋水位観測所で7 cmの補給効果があることが分かる。

～ダムへ貯留している場合～

流入量より、放流量が少ない場合、『ダム貯留による水位低下分』として表示。
朝日橋水位観測所で37 cmの水位低下効果があることが分かる。

ダム管理の見える化への取り組み

- ◆ [ホームページ](#)、[X\(旧ツイッター\)](#) を活用し、防災・イベント情報の他、ダム管理の状況、ダムの役割などについて発信。
→ 随時更新されるページはアクセスが多く、問い合わせについても対応。



【事務所ホームページ】



【事務所X(旧ツイッター)】

虹の湖周辺

見どころMAP



虹の湖 しゃくやく壺 (見頃6月中旬～6月下旬)



虹の湖 ロックフェスティバル (開催時期8月上旬予定)



人と自然の大切なつながりで遊ぶ



- 自然系観光スポット
- 施設系観光スポット
- その他観光スポット
- トイレ
- おみやげもの等
- お食事
- 温泉(白濁り入浴可能)
- 駐車場



中野もみじ山 中野神社 (観葉10月中旬～11月上旬)



お山のおもしえ学校

道の駅 虹の湖

無料休憩所・管理棟



▲屋台村で買ったものを休憩所でゆつたりと食事でできます。お互いにマナーを守って利用しましょう。



▲人気のもちもちトナツ



▲黒石餅グルメのつゆ焼きそば

まずはこちらへ!

- ふるさとショップ
- 虹の湖レストハウス
- 屋台村
- 無料休憩所・管理棟
- 加伊寿の泉
- バーベキューコーナー
- しゃくやく園
- パターゴルフ場
- 大型道具
- ステーション

自然の美しさの中で遊ぶ



見頃4月下旬～5月上旬



津軽白神湖周辺

見どころMAP



津軽弁



マザーツリー



自然観察歩道コース



茶な巨木 ふれあいの径

樹齢300年クラスの巨木と出会えます。

白神と遊ぶ



滝門の滝



世界遺産の径 ナナ林敷歩道



アクアグリーンビレッジ ANMON (晴門の滝)

駐車場から徒歩10分圏内で世界遺産地域に入ることができます。白神山地の情報はこちらで入手することができます。また、晴門名産「りんごソフト」は絶品です。(7月～11月上旬) 晴門川



美山湖パーク



広葉寺



不動塔



水陸両用バス・津軽白神号



ダムビューパーク



津軽ダムパーク



白神が故郷パーク



大田温泉



白神山遊歩道



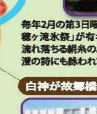
Pana's 白神餅 (しらかみの餅)



目黒渓谷



岩谷嶺音音



津軽ダム



ラフティング



道の駅 津軽白神

まずはこちらへ!



Beech にしめや BeFavo

地元野菜や山菜・きのこなど白神の特産物を販売しています。ビアガーデンの白神ハチミツとジェラートがおすすめ。イノベーションセンター

西目黒村・白神山地の情報は、旅行情報代書店「津軽白神ツアー」があります。

レストランのドア

100%白神産のそば粉で作られた「白神そば」と「津軽ダムカレー」がおすすめ!

津軽ダムカレー 冬は白豆豆腐が名物です!

白神そば粉を使用した山菜そば

白豆豆腐 地元でしか食べられない冬への限定品

※平成30年4月現在の内容となっております。

ダム放流、イベントの情報をメールにてお知らせしています。お気軽にご登録ください。

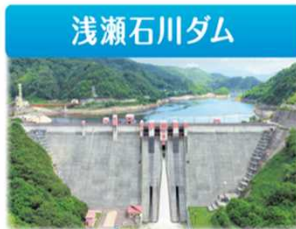
岩木川ダムメール 登録募集

ダム放流をあなたのスマホにお知らせします

浅瀬石川ダム、津軽ダムの放流情報をスマホに素早くメールでお知らせします

令和4年10月1日より運用中!

登録は無料。両方のダムを登録することも、片方のダムのみを登録することも可能。
また、試験配信を兼ねたダム情報もお知らせします(不定期配信)
※受信料は利用者の負担となります



登録方法

STEP 01 はじめに

受信制限機能を利用している場合には「sg-p.jp」ドメインの受信ができるよう設定変更をお願いします。フューチャーフォンやPCメールにも登録可能です。

STEP 02 サイトへアクセス

下記のQRコードを読み込むか、アドレスをクリックしてください



<https://plus.sugumail.com/usr/iwakigawa-dam/home>

STEP 03 仮登録(空メール送信)

空メールを送信すると、仮登録完了メールが届きます。本登録するためのURLをクリックし、指示に従って必要事項を入力してください。

STEP 04 登録完了

「岩木川ダムメール」の配信が開始されます。



パンフレット (PDF: 4.32MB)



登録手順の案内 (PDF: 248KB)



つながるの昔っこ

津軽地方に伝承されている昔話を事務所ホームページに絵本形式で公表しています。

AA AA ウェブ全体 このサイト内 から を サイト内検索 Powered by Google

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
Iwakigawa Dam Integrated Management Office

- トップページ
- お知らせ
- 記者発表
- 事務所の情報
- リアルタイムデータ
- 入札・契約情報
- アクセス
- 問い合わせ

トップ > つがるの昔っこ(昔話)

サブメニュー

- トピックス
- ダムについて
- ダム見学について
- ダム湖について
- 環境保全へのとりくみ
- 岩木川ダム統管だより
- ギャラリー
- つがるの昔っこ(昔話)
- 地域情報
- サイトマップ

つがるの昔っこ(昔話)

■ NEW 第30話 津軽の髭殿様②



● あらすじ

・ 将軍様の御前での馬術大会でのこと、将軍様お抱えの乗馬の名人の青竹乗りをみて津軽のひげ殿様、今度は将軍様に張り合ってしまう。また切腹の危機に陥るひげ殿様、運命はいかに。

【標準語】

- ▼ スライドショー版
- ▼ PDF版: 2.12MB

【津軽弁】

- ▼ スライドショー版
- ▼ PDF版: 2.12MB

浅瀬石川ダム



Ver.1.0 (2007(H19).07)



Ver.1.1 (2015(H27).07)



Ver.1.2 (2015(H27).10)



Ver.2.0 (2016(H28).04)



Ver.2.1 (2016(H28).04)



浅瀬石川ダムイメージキャラクター
あっちゃんとおっちゃんパパ

津軽ダム



Ver.1.0 (2011(H23).06)



Ver.2.0 (2011(H23).08)



Ver.3.0 (2011(H23).10)



Ver.4.0 (2012(H24).06)



Ver.5.0 (2012(H24).07)



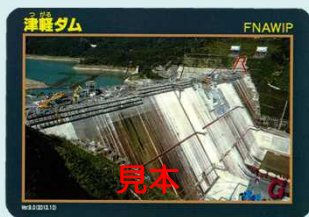
Ver.6.0 (2012(H24).10)



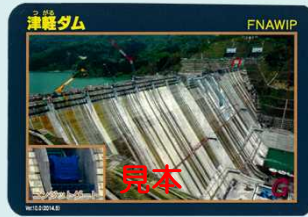
Ver.7.0 (2013(H25).06)



Ver.8.0 (2013(H25).07)



Ver.9.0 (2013(H25).10)



Ver.10.0 (2014(H26).05)



Ver.11.0 (2014(H26).07)



Ver.12.0 (2014(H26).09)



Ver.13.0 (2015(H27).04)



Ver.14.0 (2016(H28).04)



Ver.1.0 (2016(H28).10)



Ver.1.1 (2017(H29).04)



Ver.2.0 (2022(R4).09)



津軽ダムイメージキャラクター
ペッカー君

事業費

【浅瀬石川ダム】

【令和6年度事業費（当初）】 ◆ **606.3百万円**

（対前年度比**0.90**：業務取扱費を除く）

【主な工事】・ダム維持

【主な業務・調査】・ダム湖の水質モニタリング

- ・流量観測
- ・自然環境調査
- ・貯水池堆砂測量
- ・水文データ、水質、堤体観測

【津軽ダム】

【令和6年度事業費（当初）】 ◆ **629.8百万円**

（対前年度比**1.17**：業務取扱費を除く）

【主な工事】・ダム維持

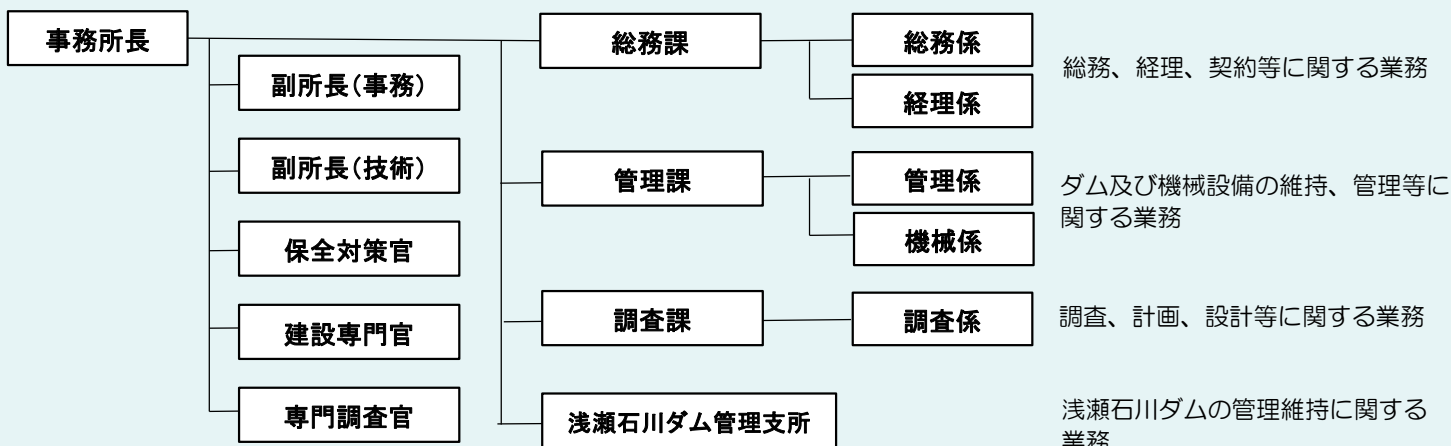
【主な業務・調査】・ダム湖の水質モニタリング

- ・流量観測
- ・自然環境調査
- ・水文データ、水質、堤体観測
- ・貯水池堆砂測量

組織図

岩木川ダム統合管理事務所

〈業務内容〉



アクセスマップ



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
 （浅瀬石川ダム・津軽ダム）
 〒036-1422
 青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢138-2
 TEL 0172-85-3035 FAX 0172-85-3061
 URL <https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>



津軽ダムイメージキャラクター
ベッカーくん

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
浅瀬石川ダム管理支所
 〒036-0404 青森県黒石市大字板留字杉の沢2
 TEL 0172-54-8782 FAX 0172-54-8785
 URL <https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>



浅瀬石川ダムイメージキャラクター
あっちゃんどパパ